

消防年報

令和3年刊行

川越地区消防局

は　じ　め　に

この年報は、川越地区消防局の現勢と消防諸般の状況を収録し、今後の消防行政の参考資料にするとともに、消防事情を広く一般に紹介するために編さんしました。

この消防年報によって本消防局の現状を認識し、深くご理解いただければ幸いです。

なお、各表について、特記してあるものを除き、年中における消防業務を収録したものであります。

令和3年6月

川越地区消防局

時代のつくりかた、新台地
 なる新と証いあふ
 支えあふ
 火災と水害を
 町の器（と）守りぬく
 再建の重み
 期待と担い
 纏と本音の
 いきいきと
 うけついでるよ
 海のない青春を掲げて
 風切をサイレン赤色町に
 會と桜の旗はゆく
 いま消防ばら
 筒先を大空へ
 大空へ虹とノ
 日常に頼るた
 智力と科学
 結ぶ組織は自治の文化
 川越地区消防組合消防歌
 関根 遼一 作詞
 寺島 尚彦 作曲
 虹のマーチ

虹のマーチ

(川越地区消防組合消防歌)

作詞 関根 遼一
 作曲 寺島 尚彦

じ だ い の う ね り む さ し の だ い ち ひろが
 れ っ し の お も ろ き た い を に な い ま っ こ い

る み ど り を う た い な が ら な が れ る か わ よ
 と き や り の こ ころ い き を う け つ く も の よ

さ き え あ う ひ と び と の き ず な が て
 く い の な い せ い し ゃ ん を か か げ

さ き え あ う ひ と び と の き ず な が て か さ
 く い の な い せ い し ゃ ん を か か げ

い と る す い が れ し
 い と る す い が れ し み せ け ん の い と う に ま

ち の と さ く し ゃ を ま た り は め く

く い ざ い ざ い ざ い

ざ 消 防 ぼ く - ら 消 防 ぼ く -

ら い ざ い ざ い ざ い

ざ つ つ さ あ - を お お ぞ ら -

へ お お ぞ ら - へ に じ を に じ を に じ を

ひ ご ろ に き た え た
 ひ ご ろ に き た え た ち り ゃ く と か が く む

す ぶ そ し き は ま ち の は な

目次

沿 革

川越地区消防組合の沿革	1～11
-------------	------

管内情勢

川越市	12
川島町	13
消防機関配置図	14～15

総 務

人口等の推移	16
消防吏員、消防車等の人口、世帯、面積の割合	16
川越地区消防組合機構図	17
消防局・消防署事務分掌	18～20
職員の配置状況	21
消防自動車の配置状況	21
基準消防力と現有消防力の比較	22
川越市・川島町予算(一般会計)消防組合予算(当初)	23
消防組合予算(当初)	23～24
消防組合予算性質別内訳(当初)	24
消防庁舎の現況	25
令和2年度主要な施設等の整備	25
職員定数・実員の推移	26
職員の年齢	27
職員の勤続年数	27
職員の採用、退職等の状況	28
職員の教養実施状況	28
消防音楽隊	29
消防相互応援協定等の状況	30～31

予 防

法令に基づく各種届出状況	32
防火管理者選任届出事業所数	32
月別建築物同意処理件数	32
消防用設備等設置届出検査処理状況	33
建築物同意状況	34
防火対象物(政令第10条以上)を有する事業所数	35
防火対象物立入検査実施状況	36
防火管理資格取得者数及び再講習状況	37
広報活動の状況	37
危険物関係処理状況	38
数量別危険物製造所等施設数	39
類別危険物施設状況	40
危険物事業所・施設数の推移	41

警 防

所属別消防車両一覧表	42
消防水利の状況	43
警防関係各種届出状況	44
事業所消防訓練派遣状況	44
中高層建築物の状況	45
火災出場の状況	46
その他出場の状況	46
現有消防機器	47

指 令

無線局一覧	48
消防通信系統図	49
通信施設の状況	50
119番受信回数	51
携帯119番受信状況	51
緊急通報システム受信状況	52
病院照会に関する記録	52
気象状況表	53

火 災

令和2年中の火災概要	54
火災の概況	55
火災件数の推移(10年間)	56
火災損害状況の推移(10年間)	57
火災による死傷者の推移(10年間)	58
地区別の出火原因	59
出火原因別火災件数の推移(10年間)	60
出火原因別火災件数	61
原因別火災発生状況	61
月別火災概況	62
月別火災件数	62
建物用途別火災件数	63
時間別火災発生件数	63
曜日別火災発生件数	63

救急・救助

令和2年中の救急・救助の概要	64
救急車の配置及び救急病院配置図	65
救急活動	
救急活動の推移(10年間)	66
月別救急活動の状況	67
事故種別傷病程度別搬送人員	68
事故種別年齢区分別搬送人員	68
署所別救急活動の状況	69
医療機関別搬送人員	70
時間別救急出場件数	70
救命講習実施状況	71
救急講習指導状況	71
救助活動	
事故種別出場件数、活動件数及び救助人員	72
事故種別発生場所別救助人員	72

消防団

消防団分団区域図	73
川越市消防団分団の名称及び受持区域	74
川島町消防団分団の名称及び受持区域	74
消防団員の実員数	75
分団別人口世帯の状況	76
消防団員の勤続年数	77
消防団員の年齢	78
消防団員の報酬等	79
分団別火災出場の状況	80
分団車庫所在地	81
消防自動車性能	82
川越市消防団専用無線設備の状況	83
川島町消防団専用無線設備の状況	84

その他

水防団員の編成(定員)	85
水防倉庫所在地	86
自警消防隊の状況	87

沿

革

川越地区消防組合の沿革

1. 消防組合の設立

昭和48年

- 4 . 1 川越市と川島町は、消防事務について共同処理することに合意し、規約(議決)により名称を川越地区消防組合と定め、消防の一部事務組合を設立した。

2. 業務開始

昭和48年

- 4 . 1 常備消防にあつては、川越地区消防組合消防本部2課(総務係、経理係)、消防課(警防係、予防係、保安係)、1署(川越消防署)、3分署(新宿分署、霞ヶ関分署、高階分署)体制とし、職員の定数165人実員143人をもって業務を開始した。また、非常備消防にあつては、川越市消防団1団本部、12分団体制とし、団員の定数実員とも303人、川島町消防団3分団、6部体制とし、団員の定数実員とも150人をもって業務を開始した。

3. 業務開始後

- 7 . 11 火災予防を徹底するため広報車を霞ヶ関分署、高階分署に配置した。
- 9 . 5 危険物の災害防止と、増加する事務処理の迅速化に対処するため、川越地区危険物安全協会より小型乗用自動車1台の寄贈があり、消防本部に配置した。
- 10 . 15 川島町区域内の救急業務の迅速化を図るため、川島町役場庁舎の一部の提供を受け、職員8人、救急自動車1台を配置し、川島分遣所を設置した。
- 10 . 22 緊急時の出動体制の確実迅速化を図るため、各分署に対する一斉指令装置を消防署に設置した。
- 10 . 23 埼玉県共済農業協同組合連合会より、救急車1台の寄贈があり、高階分署に配置した。

昭和49年

- 1 . 7 川島町大字平沼858番地1に川島分署庁舎鉄筋コンクリート造平屋建延364.77㎡が完成し、新庁舎に職員14人、水そう付消防ポンプ自動車1台、救急車1台を配置して業務を開始し、管内北部の消防力を充実強化した。
- 3 . 19 中高層建築物に対処するため、32m級はしご付消防ポンプ自動車を川越消防署に配置した。
- 4 . 1 機構改革により、川島分遣所を川越消防署川島分署とし、消防本部2課(総務課、消防課)、1署(川越)、4分署(新宿、霞ヶ関、高階、川島)体制となる。
- 11 . 21 川越市神明町48番地4に消防本部、消防署の庁舎鉄筋コンクリート造3階建、延1516.70㎡が完成し、11月23日に移転、業務を開始した。

昭和52年

- 4 . 1 機構改革により、川越消防署に通信指令第1係、通信指令第2係を配置した。
- 6 . 29 災害その他現場指揮本部用車両を消防本部に配置した。

昭和54年

- 4 . 5 機構改革により、川越消防署大東分署を新設し、消防本部2課(総務課、消防課)、1署(川越)、5分署(新宿、霞ヶ関、高階、川島、大東)体制となる。
- 川越市大字豊田新田20番地1に大東分署庁舎鉄筋コンクリート造平屋建398.80㎡が完成し、職員21人、水そう付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、広報車1台を配置して業務を開始し、管内西部の消防力を充実強化した。

- 7 . 24 災害その他現場への資機材輸送の迅速化を図るため、警防車を川越消防署に配置した。

昭和55年

- 5 . 1 機構改革により、川越消防署の通信指令第1係、通信指令第2係を専従体制とした。

昭和56年

- 4 . 1 機構改革により、総務課に教養係、消防課に施設係及び査察指導係を配置し、総務課3係(庶務係、経理係、教養係)、消防課5係(警防係、施設係、予防係、査察指導係、保安係)となる。
- 9 . 30 葵ライオンズクラブより、広報車1台の寄贈があり、消防本部に配置した。

昭和57年

- 1 . 29 多様化する災害に対処するため、救助工作車を川越消防署に配置した。
- 2 . 1 通信指令室に消防緊急指令装置を設置した。
- 10 . 20 日本損害保険協会より、水そう付消防ポンプ自動車1台の寄贈があり、川越消防署に配置した。
- 10 . 22 地震対策の啓蒙に役立てるため、地震体験車(川越なまず号)を川島分署に配置した。
- 12 . 21 管内西部の工業地化が進み、化学火災に対処するため、化学車を大東分署に配置した。

昭和58年

- 1 . 14 通信指令室の総合気象観測装置を更新した。
- 2 . 8 通信指令室に救急専用無線局を設置した。
- 3 . 25 消防署に消防救助技術の向上を図るため、訓練塔(B塔)を設置した。
- 4 . 1 従来の川越消防署通信指令第1係、通信指令第2係を指令第1係、指令第2係とした。
- 12 . 6 エアーマスク用ボンベの空気充填の迅速化を図るため、川越消防署に空気充填庫(7.74㎡)を増築整備した。

昭和59年

- 2 . 28 高層建築物の増加に対処するため、46m級はしご付消防自動車を川越消防署に配置した。
- 3 . 15 消防救助技術訓練施設整備のため、川越消防署に訓練塔(A塔)を増設した。
- 3 . 25 新宿分署に車庫77.49㎡を増築し、32m級はしご付消防ポンプ自動車の配置換えをした。

昭和61年

- 4 . 1 機構改革により、川越消防署東分署を新設し、消防本部2課(総務課、消防課)、1署(川越)、6分署(新宿、霞ヶ関、高階、川島、大東、東)体制となる。
- 7 . 1 川越市大字久下戸3528番地1に東分署庁舎鉄筋コンクリート造2階建451.05㎡が完成し、職員21人、水そう付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台、救急車1台、広報車1台を配置して業務を開始し、管内東部の消防力を充実強化した。

昭和62年

- 8 . 21 日本消防協会より、広報車1台の寄贈があり、川越消防署に配置した。
- 8 . 28 川越消防署にマイクロバス(29人乗り)を配置した。

平成 元年

- 4 . 1 機構改革により、調査指導第1係、調査指導第2係を川越消防署に配置し、火災調査業務を専従体制とした。

平成 2年

- 3 . 29 警防車を川越消防署に配置した。

平成 3年

- 4 . 1 機構改革により、従来の消防本部消防課、川越消防署調査指導係及び指令係を廃止し、消防本部に予防課(予防係、査察指導係、保安係)、警防課(警防係、施設係、調査第1係、調査第2係)、指令課(指令第1係、指令第2係)を配置した。また、川島分署を川島消防署とし、消防本部4課(総務課、予防課、警防課、指令課)、2署(川越、川島)、5分署(新宿、霞ヶ関、高階、大東、東)体制となる。また、各消防署に消防課(消防係)を配置し、組織の充実強化を図る。

平成 4年

- 8 . 24 川越地区危険物安全協会より、連絡車1台の寄贈があり、消防本部に配置する。
10 . 5 消防本部増築棟3階建が完成する。

平成 5年

- 3 . 15 消防緊急通信指令装置(Ⅱ型)を増築棟の庁舎3階に設置した。
4 . 1 機構改革により、従来の消防本部警防課調査第1係、調査第2係を調査係とした。また、霞ヶ関分署を川越西消防署とし、消防本部4課(総務課、予防課、警防課、指令課)、3署(川越、川越西、川島)、4分署(新宿、高階、大東、東)体制となる。また、各消防署の消防課に庶務係を配置し、組織の充実強化を図る。
5 . 19 救急救命士国家試験に職員1人が合格、本組合第1号の救急救命士が誕生した。
9 . 1 日本損害保険協会より、水そう付消防ポンプ自動車1台の寄贈があり、川越西消防署に配置した。
10 . 11 川越地区消防組合発足20周年記念式典を川越市民会館で開催した。
10 . 30 川島消防署新庁舎、鉄筋コンクリート造2階建1, 136. 02㎡が完成し、竣工式を開催した。

平成 6年

- 3 . 31 川越西消防署新庁舎、鉄筋コンクリート造3階建1, 490. 08㎡が完成し、救助工作車Ⅱ型1台及び救助資機材一式を配置して、管内西部の消防力を充実強化した。

平成 7年

- 3 . 16 消防救助技術訓練施設整備のため、川島消防署に訓練塔(A塔)を設置した。
4 . 1 機構改革により、従来の総務課教養係を人事教養係とし、警防課救急係を救急救助係とした。また、警防課施設係を管理係とし総務課へ、調査係を調査第1係、調査第2係とし川越消防署消防課へ配置換えをした。また、消防署の中隊を廃止し、警備隊(14隊)救急隊(6隊)救助隊(2隊)とした。

平成 8年

- 2 . 14 阪神・淡路大震災を契機に、消防水利及び飲料水確保のため、小型動力ポンプ付水そう車を川越消防署に配置した。
高圧ボンベの普及により、空気充填の更なる迅速化を図るために、川島消防署に高圧ガス充填施設(12. 00㎡)を新設整備した。
3 . 29 災害時の応急救護所等に使用するため、エアーテントを川越消防署に配備した。

- 4 . 1 救急高度化推進事業の一環として、埼玉医科大学総合医療センターの医師による救急救命士法に基づいた指示体制が確立、本格的な救急救命士運用が始まる。
増加する救急要請に対応するため、高階分署の救急隊を専従体制とした。
- 5 . 8 阪神・淡路大震災を契機に、埼玉県下14消防本部(川越地区消防組合を含む)を中心とした彩の国レスキュー隊が発足した。
- 11 . 25 消防用無線局全国波を導入整備した。

平成 9年

- 3 . 19 彩の国レスキュー隊の発足に伴い、高度救助資器材を積載した救助工作車Ⅲ型を川越消防署に配置した。
- 3 . 21 震災対策用として可搬式小型動力ポンプを各署所に配置した。
- 4 . 1 川越地区消防組合救急高度化推進協議会を設置した。

平成10年

- 4 . 1 機構改革により、川越消防署消防課の調査第1係、調査第2係を第1調査隊、第2調査隊とし川越消防署に配置換えをした。また、大東分署の救急隊を専従体制とした。

平成11年

- 2 . 18 警防車を川越西消防署に配置した。
- 3 . 30 新宿分署新庁舎鉄筋コンクリート造3階建1, 772. 93㎡が完成し、竣工式を開催した。
- 4 . 1 多様化する災害への対応を図るため、救助隊を特別救助隊とし、新宿分署及び川越西消防署に配置した。

平成12年

- 2 . 1 川越消防署の水そう付消防ポンプ自動車を化学車に更新した。
- 3 . 2 はしご付消防ポンプ自動車を川越西消防署に配置した。
- 4 . 1 増加する救急要請に対応するため、東分署の救急隊を専従体制とした。

平成13年

- 4 . 1 増加する救急要請に対応するため、川島消防署の救急隊を専従体制とした。
川越地区消防組合消防音楽隊が設立される。
国際消防救助隊編成協力市町村の該当となり、8人の救助隊員を国際消防救助隊に登録した。
- 12 . 18 警防車を川越消防署に配置した。

平成14年

- 2 . 8 高規格救急車を川越西消防署に配置した。
- 4 . 1 規約を変更し、「高圧ガス保安法に基づく事務」、「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく事務」及び「火薬類取締法及び施行規則に基づく事務」を新たに共同処理することとした。
複雑多様化する災害へ対応するため、第1指揮担当、第2指揮担当を川越消防署に配置した。
三交代制勤務の試行を指令課において開始する。
- 12 . 21 消防音楽隊発足式・演奏会をやまぶき会館にて開催した。

平成15年

- 4 . 1 機構改革により、従来の消防本部総務課人事教養係を職員係とし、川越消防署第1調査係、第2調査係を第1調査担当及び第2調査担当とした。
- 11 . 30 川越地区消防組合発足30周年記念式典をやまぶき会館にて開催した。

平成16年

- 4 . 1 機構改革により、消防本部に救急課(救急管理係、救急指導係)を配置し、従来の警防課を警防係、装備係の2係とした。また、川越西消防署名細分署を新設し、消防本部5課(総務課、予防課、警防課、救急課、指令課)、3署(川越、川越西、川島)、5分署(新宿、高階、大東、東、名細)体制となる。
川越市大字鯨井589番地1に名細分署庁舎鉄筋コンクリート造2階建1,053.16㎡が完成し、職員35人、水そう付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台、高規格救急車1台、広報車1台を配置して業務を開始し、管内西部の消防力を充実強化した。

平成17年

- 3 . 31 指令課において実施していた三交代制勤務の試行を終了する。
- 4 . 1 機構改革により、消防本部名称を川越地区消防局に改め、係制を廃止し担当制とした。総務課に消防団担当を配置し、総務担当、消防団担当、財務担当、職員担当、管理担当の5担当とした。また、従来の指令課を指揮統制課とし、川越消防署第1指揮担当、第2指揮担当及び第1調査担当、第2調査担当を第1指揮調査担当及び第2指揮調査担当とし、指揮統制課に配置換えをした。消防署にあっては、従来の川越消防署を川越北消防署に、東分署を南古谷分署とした。また、新宿分署を川越中央消防署として消防課を配置した。消防局5課(総務課、予防課、警防課、救急課、指揮統制課)、4署(川越北、川越中央、川越西、川島)、4分署(南古谷、高階、大東、名細)体制となり、組織の充実強化を図る。
- 11 . 21 川越市自治会連合会より、消防活動用自動二輪車(赤バイ)の寄贈があり、消防局に配置した。

平成18年

- 7 . 19 川越地区消防局を含む県内7消防本部の救助隊による機動救助隊、防災航空隊及び県内の医療機関による埼玉DMATで構成される埼玉県特別機動援助隊(埼玉SMART)が発足する。
- 10 . 1 全国的な救助体制の強化を図るため、川越地区消防局を含む全国50の消防本部に高度救助隊が創設され、川越中央消防署に配置した。

平成19年

- 2 . 28 後方支援車を川越西消防署名細分署に配置した。

平成20年

- 2 . 1 消防緊急通信指令装置(Ⅱ型)を部分更新した。

平成22年

- 2 . 26 埼玉県防災ヘリコプターテレビ映像受信装置を設置した。
- 3 . 25 警防車を川島消防署に配置した。

平成24年

- 3 . 30 東日本大震災を契機に、震災対応体制の充実強化を図るため、震災対応初動資機材を各署所に配置した。

平成25年

- 1 . 15 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川越中央消防署高階分署に配置した。
- 12 . 21 川越地区消防組合設立40周年記念式典をやまぶき会館にて開催した。

平成26年

- 4 . 1 埼玉県広域災害・救急医療情報システムへのアクセス用タブレット端末を導入し、消防局指揮統制課及び救急自動車に配置した。

平成27年

- 3 . 26 消防力の強化を図るため、消防救急デジタル無線を導入整備した。
7 . 24 連絡車を川島消防署に配置した。
12 . 18 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川越北消防署南古谷分署に配置した。

平成28年

- 1 . 27 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川越北消防署に配置した。
12 . 14 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川島消防署に配置した。

平成29年

- 1 . 12 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川越中央消防署大東分署に配置した。
4 . 1 機構改革により、指揮統制課に指令管理担当を配置した。
12 . 14 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川越中央消防署に配置した。
12 . 18 高規格救急車を川越中央消防署に新たに配置した。

平成30年

- 4 . 1 機構改革により、指揮統制課の第1指揮調査担当及び第2指揮調査担当を第1指揮担当及び第2指揮担当とし、指揮隊を専従体制とした。また、火災調査に係る担当を火災調査担当とし、専従体制とするともに指揮統制課から予防課へ配置換えをした。また、救急課の救急管理担当及び救急指導担当を救急担当とし、消防課の庶務担当及び消防担当を管理指導担当とした。また、増加する救急要請に対応するため、中央消防署の救急隊を2台体制とし、組織の充実強化を図る。
11 . 16 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川越西消防署に配置した。

令和元年

- 4 . 1 機構改革により、消防局に新消防庁舎建設準備室(庁舎建設担当)を配置し、消防局5課及び1室(総務課、予防課、警防課、救急課、指揮統制課、新消防庁舎建設準備室)、4署(川越北、川越中央、川越西、川島)、4分署(南古谷、高階、大東、名細)体制となる。

令和3年

- 4 . 1 機構改革により、総務課の財務担当を企画財政担当とした。また川越北消防署に統括管理課(統括管理担当)を配置し、消防課の管理指導担当を指導担当とした。

○川越非常備消防

昭和49年

- 3 . 31 川越市消防団大東分団車庫木造モルタル平屋建49. 47㎡を移築した。

昭和51年

- 1 . 29 川越市消防団高階分団車庫ブロック造平屋建42. 0㎡を新築した。
11 . 1 川越市消防団山田分団車庫ブロック造平屋建53. 39㎡を新築した。

昭和52年

- 3 . 18 川越市消防団南古谷分団車庫鉄骨造2階建56. 0㎡を新築した。

昭和53年

- 3 . 30 川越市消防団第二分団車庫木造モルタル平屋建19. 04㎡を増改築し、48. 2㎡に整備した。
川越市消防団福原分団車庫木造モルタル平屋建12. 82㎡を増改築し、47. 53㎡に整備した。

昭和54年

- 3 . 22 川越市消防団名細分団車庫鉄骨造2階建66. 14㎡を新築した。

昭和56年

- 3 . 31 川越市消防団霞ヶ関分団車庫木造34. 65㎡に2階部分34. 6㎡を増築し、69. 26㎡に整備した。
11 . 27 川越市消防団古谷分団車庫ブロック造40. 64㎡に木造2階部分34. 61㎡を増築し、75. 25㎡に整備した。

昭和57年

- 12 . 20 川越市消防団第一分団車庫木造及びブロック造平屋建に8. 26㎡増築し、61. 15㎡に整備した。

昭和58年

- 9 . 9 川越市消防団芳野分団車庫ブロック造平屋建に1. 28㎡増築し、44. 86㎡に整備した。

昭和61年

- 2 . 10 日本消防協会表彰「竿頭綬」を受賞した。
3 . 31 川越市消防団福原分団車庫鉄骨造平屋建67. 62㎡を新築した。

昭和63年

- 4 . 1 川越市消防団団員の定数を1人増員し、定数304人とした。
組織力強化のため、団本部の副団長を2人から3人体制とした。

平成 元年

- 3 . 11 川越市消防団大東分団車庫鉄骨造2階建84. 20㎡を新築した。

平成 3年

- 3 . 30 川越市消防団第三分団車庫鉄骨造2階建104. 52㎡を新築した。

平成 7年

- 3 . 31 川越市消防団第一分団車庫鉄筋コンクリート造2階建91. 4㎡を新築した。
川越市消防団古谷分団車庫鉄筋コンクリート造一部木造2階建99. 4㎡を新築した。

平成 8年

- 8 . 20 第19回埼玉県消防操法大会(ポンプ車の部)において優勝した。

平成10年

- 3 . 17 災害活動時における指揮、連絡系統の充実強化を図るため、消防団専用無線(基地局1台、車両積載12台、携帯型17台)を導入整備した。
- 4 . 1 組織力強化のため、団本部の副団長を3人から4人体制とした。

平成11年

- 2 . 9 日本消防協会表彰「表彰旗」を受賞した。
- 3 . 15 川越市消防団第二分団車庫鉄筋コンクリート造2階建109. 79㎡を新築した。
- 4 . 1 川越市消防団団員の定数を1人増員し、定数305人とした。

平成12年

- 4 . 1 消防団服制規則を改正。作業服及び作業帽の色、デザインを一新するとともに、布地にはリサイクル素材を使用した。

平成13年

- 4 . 1 消防団服制規則を改正。夏服の色、デザインを新たなものとした。

平成14年

- 7 . 26 災害活動及び訓練時の安全管理のため、編上靴を導入した。

平成15年

- 3 . 14 川越市消防団山田分団車庫鉄骨造2階建112. 00㎡を新築した。

平成16年

- 2 . 20 川越市消防団高階分団車庫鉄筋コンクリート造2階建112. 00㎡を新築した。
- 4 . 1 川越市消防団団員の定数を20人増員、定数325人とし、女性消防団員20人を新規に採用した。

平成17年

- 3 . 25 川越市消防団芳野分団車庫鉄骨造平屋建104. 00㎡を新築した。
- 10 . 20 川越市女性消防隊が第17回全国女性消防操法大会に埼玉県代表として出場し、準優勝した。

平成18年

- 3 . 28 川越市消防団霞ヶ関分団車庫鉄骨造平屋建100. 00㎡を新築した。

平成19年

- 3 . 1 川越市消防団南古谷分団車庫木造平屋建103. 10㎡を新築した。

平成20年

- 3 . 7 日本消防協会特別表彰「まとい」を受賞した。
- 3 . 26 川越市消防団名細分団車庫鉄骨造平屋建100. 00㎡を新築した。

平成23年

- 4 . 1 川越市消防団団員の定数を5人増員し、定数330人とした。

平成24年

- 5 . 31 災害活動の充実強化を図るため、簡易救助資機材を配置した。

平成25年

- 3 . 14 川越市消防団福原分団車庫鉄筋コンクリート造2階建99. 22㎡を新築した。

平成26年

- 9 . 9 災害活動の充実強化を図るため、各分団にチェンソーを配置した。

平成27年

- 1 . 11 一般社団法人日本損害保険協会から小型動力ポンプ付軽自動車の寄贈を受けた。
- 3 . 25 災害活動時における指揮、連絡系統の充実強化を図るため、消防団デジタル無線機器を導入整備した。
- 10 . 14 災害活動の充実強化を図るため、各分団にエンジンカッターを配置した。

令和元年

- 3 . 6 消防庁長官表彰「竿頭綬」を受賞した。

○川島非常備消防

昭和49年

- 4 . 1 川島町消防団が改組され、3分団6部、定数150人の組織から1団本部6分団、定数118人の組織体制となる。

昭和50年

- 12 . 23 川島町消防団第五分団車庫ブロック造平屋建25. 21㎡を新築した。

昭和52年

- 3 . 31 川島町消防団第六分団車庫ブロック造平屋建49. 98㎡を新築した。

昭和58年

- 11 . 30 川島町消防団第三分団車庫ブロック造平屋建3. 3㎡を増築して23. 1㎡に整備した。

昭和60年

- 7 . 19 災害現場での迅速な指揮活動のため団本部指令車1台を購入した。

昭和63年

- 3 . 30 川島町消防団第三分団車庫鉄骨造平屋建29. 7㎡を新築した。

平成 3年

- 2 . 13 川島町消防団第二分団車庫鉄骨造平屋建49. 87㎡を新築した。

平成 4年

- 2 . 13 日本消防協会表彰「竿頭綬」を受賞した。

平成 7年

- 2 . 17 川島町消防団第一分団車庫鉄骨造平屋建60. 3㎡を新築した。

平成11年

- 3 . 5 消防庁長官表彰「表彰旗」を受賞した。

平成12年

- 4 . 1 消防団服制規則を改正。作業服及び作業帽の色、デザインを一新するとともに、布地にはリサイクル素材を使用した。

平成13年

- 3 . 28 川島町消防団第四分団車庫鉄骨造2階建85. 66㎡を新築した。
4 . 1 消防団服制規則を改正。夏服の色、デザインを新たなものとした。

平成14年

- 7 . 26 災害活動及び訓練時の安全管理のため、編上靴を導入した。

平成15年

- 3 . 21 川島町消防団第五分団車庫鉄骨造2階建88. 9㎡を新築した。

平成17年

- 2 . 3 川島町消防団第六分団車庫鉄骨造平屋建89. 43㎡を新築した。

平成18年

- 1 . 16 川島町消防団第二分団車庫鉄骨造平屋建2. 16㎡を増設した。(全体52. 03㎡)

平成19年

3 . 15 川島町消防団第三分団車庫鉄骨造平屋建89.43㎡を新築した。

平成22年

4 . 1 川島町消防団団員の定数を6人増員、定数124人とし、女性消防団員7人を新規に採用した。

平成24年

5 . 31 災害活動の充実強化を図るため、簡易救助資機材を配置した。

平成25年

4 . 1 川島町消防団団員の定数を5人増員、定数129人とした。

平成26年

11 . 8 川島町消防団第五分団が第24回全国消防操法大会に埼玉県代表として出場し、敢闘賞を受賞した。

平成27年

3 . 25 災害活動時における指揮、連絡系統の充実強化を図るため、消防団デジタル無線機器を導入整備した。

平成28年

3 . 10 災害活動の充実強化を図るため、各分団にチェーンソーを配置した。

管内情勢

川越市

川越市の位置

位 置		面 積	
北 緯	35° 55' 30''	109. 13km ²	
東 経	139° 29' 08''	東 西	16. 27km
海 抜	18. 5m	南 北	13. 81km

川越市のあゆみ

川越市は、埼玉県中央部よりやや南部、武蔵野台地の東北端に位置し、遠く古代より交通の要衝、入間地域の政治の中心として発展してきました。平安時代には桓武平氏の流れをくむ武蔵武士の河越氏が館を構え勢力を伸ばしました。室町時代には、河越城を築城した太田道真・道灌父子の活躍により、扇谷上杉氏（おうぎがやつうえすぎし）が関東での政治・経済・文化の一端を担うとともに、河越の繁栄を築きました。江戸時代には江戸の北の守りとともに舟運を利用した物資の集積地として重要視されました。

大正11年には埼玉県内で初めて市制を施行し、昭和30年には隣接する9村を合併し現在の市域となり、平成15年には埼玉県内で初めて中核市に移行しました。

川越市は、都心から30キロメートルの首都圏に位置するベッドタウンでありながら、商品作物などを生産する近郊農業、交通の利便性を生かした流通業、伝統に培われた商工業、豊かな歴史と文化を資源とする観光など、充実した都市機能を有しています。現在も、埼玉県南西部地域の中心都市として発展を続けています。

川 島 町

川島町の位置

位 置		面 積	
北 緯	36° 00' 00''	41. 63km ²	
東 経	139° 30' 55''	東 西	11. 2km
海 抜	14. 5m	南 北	7. 9km

川島町のあゆみ

川島町は埼玉県のほぼ中央に位置し、北は都幾川・市野川を境として東松山市・吉見町に、東は荒川を境として北本市・桶川市・上尾市に、南は入間川を境として川越市に、西は越辺川を境として坂戸市に接しており、まさに“川に囲まれた島”そのものといえます。面積は41. 63平方キロメートルで、東西間11キロメートル、南北間8キロメートルの距離となっています。標高は平均14. 5メートルで高低差はほとんどなく、かつては見渡す限り水田地帯でした。

この地域に集落を形成して生活を営むようになったのは奈良時代の少し前ごろからとみられており、町内にはそのころの様子がうかがえる「塚」や「塚の跡」が残っています。江戸時代になると川越藩の支配の中で農業生産が高まりましたが、反面、荒川の流れを現在の場所に変えたことで、たびたび水害に悩まされるようになりました。その後、時代が進むにつれ、河川改修や堤防の築造によって徐々に水害を克服してきました。

昭和29年、川島領と呼ばれる中山・伊草・三保谷・出丸・ハツ保・小見野の6か村が合併し、川島村が誕生。以後は中学校の統合や上水道の敷設など、積極的な村づくりを進め、昭和47年11月に町制を施行しました。

現在、首都圏中央連絡自動車道川島インターチェンジの開通に伴い、インター周辺開発が進み、町は変革のときを迎えています。



〒350-0823
川越地区消防局
川越北消防署
川越市神明町48番地4
TEL 049-222-0700



〒350-1108
川越西消防署
川越市伊勢原町5丁目3番地
TEL 049-231-2066



〒350-0815
川越西消防署 名細分署
川越市大字鯨井589番地1
TEL 049-234-0119



〒350-1162
川越中央消防署 大東分署
川越市南大塚1丁目1番地9
TEL 049-245-3119

消防機関配置図



〒350-0131
川島消防署
川島町大字平沼888番地
TEL 049-297-1891



〒350-1124
川越中央消防署
川越市新宿町2丁目14番地7
TEL 049-242-2365



〒350-0011
川越北消防署 南古谷分署
川越市大字久下戸3528番地1
TEL 049-235-0801



〒350-1137
川越中央消防署 高階分署
川越市大字砂新田16番地3
TEL 049-243-8054



総

務

人口等の推移

(1) 川越市、川島町の状況

各年4月1日現在

年 \ 人口等	人口(人)		世帯数(世帯)		人口密度(人/㎢)	
	川越市	川島町	川越市	川島町	川越市	川島町
平成28年	350,457	20,957	152,496	7,934	3,211	503
平成29年	351,863	20,658	154,766	8,001	3,224	496
平成30年	352,418	20,488	156,725	8,111	3,229	492
令和元年	353,078	20,189	158,724	8,113	3,235	485
令和2年	353,456	19,863	160,831	8,090	3,239	477
令和3年	353,442	19,622	163,023	8,112	3,239	471

面積＝川越市109.13㎢

川島町41.63㎢

(2) 消防組合区域の状況

年 \ 人口等	人口(人)	世帯数(世帯)	人口密度(人/㎢)
平成28年	371,414	160,430	2,464
平成29年	372,521	162,767	2,471
平成30年	372,906	164,836	2,474
令和元年	373,267	166,837	2,476
令和2年	373,319	168,921	2,476
令和3年	373,064	171,135	2,475

面積＝150.76㎢

消防吏員、消防車等の人口、世帯、面積の割合

令和3年4月1日現在

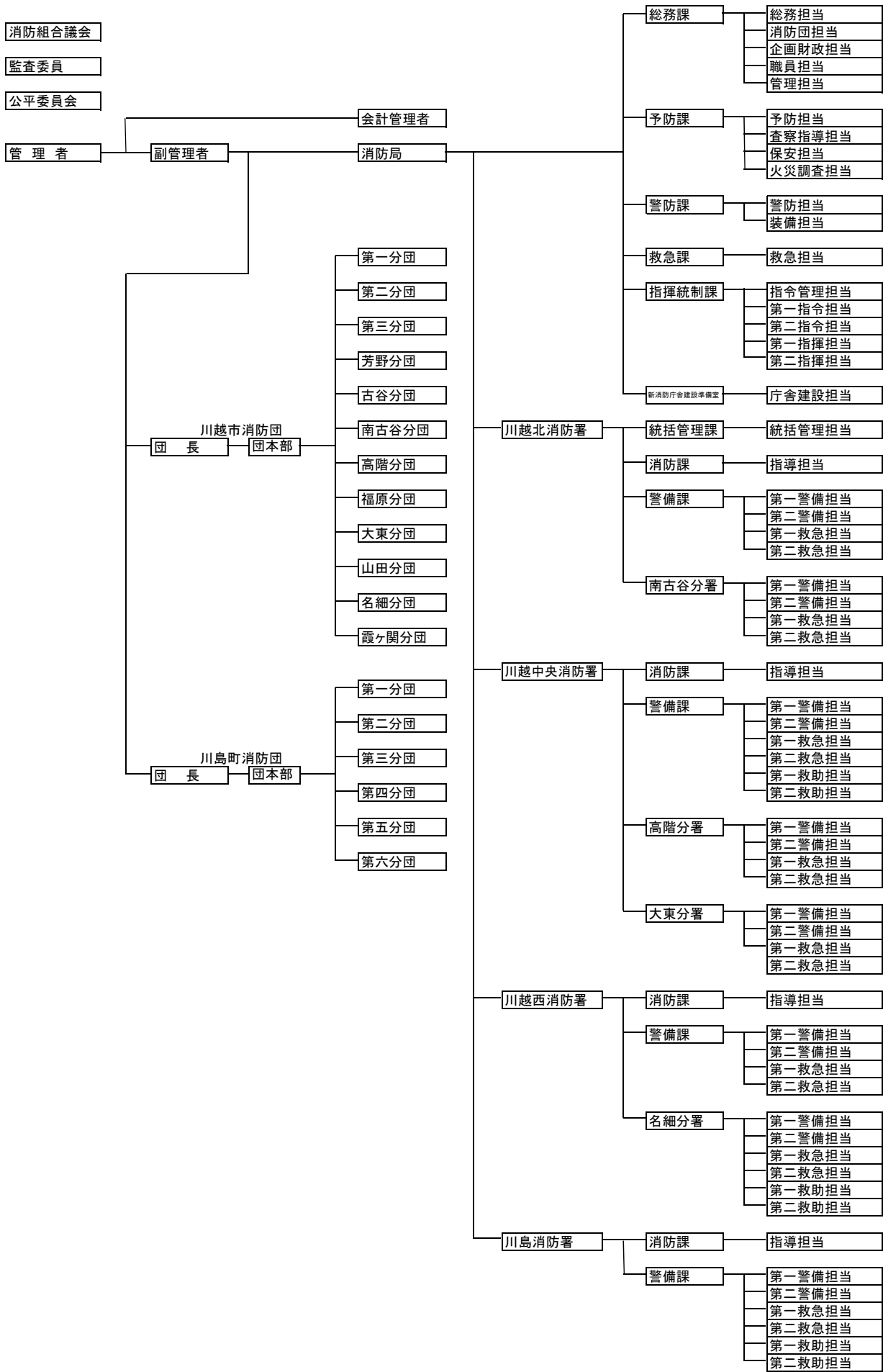
人口等 \ 吏員等	現有数	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(㎢)
消防吏員1人当り	434人	860	394	0.35
消防ポンプ車1台当り	18台	20,726	9,508	8.38
救急車1台当り	12台	31,089	14,261	12.56
1署当り	8署	46,633	21,391	18.85

※定数外の職員を含みます。

※再任用短時間勤務職員を含みません。

川越地区消防組合機構図

令和3年4月1日



消防局・消防署事務分掌

令和3年4月1日現在

消防局

総務課	総務担当	1 組合議会に関すること。 2 儀式及び表彰に関すること。 3 文書の管理に関すること。 4 公印に関すること。 5 情報公開制度に関すること。 6 個人情報の保護に関すること。 7 条例及び規則等に関すること。 8 広報及び広聴の総合的な調整等に関すること。 9 監査に関すること。 10 公平委員会に関すること。 11 消防長会等に関すること。 12 課内の庶務事務に関すること。 13 その他他の主管に属さない事項に関すること。
	消防団担当	1 消防団に関すること。 2 消防協会に関すること。
	企画財政担当	1 総合計画に関すること。 2 行政組織に関すること。 3 本部会議、所属長会議及び担当会議に関すること。 4 消防統計(他の主管に属する統計を除く。)に関すること。 5 予算の編成に関すること。 6 予算の執行計画、配当及び執行統制に関すること。 7 物品の出納及び保管に関すること。 8 決算に関すること。
	職員担当	1 職員の任免、分限、懲戒その他勤務条件に関すること。 2 職員の服務その他身分取扱いに関すること。 3 職員の配置に関すること。 4 職員等の旅費に関すること。 5 職員の給与に関すること。 6 職員の給貸与物品に関すること。 7 職員の教養及び研修に関すること。 8 職員の福利厚生に関すること。 9 職員の労働安全衛生に関すること。 10 職員の公務災害補償に関すること。 11 市町村職員共済組合に関すること。
	管理担当	1 公有財産の取得、管理及び処分に関すること。 2 契約に関すること。 3 国庫及び県費の補助に関すること。
予防課	予防担当	1 火災予防に係る事業計画の立案及び事業の実施に関すること。 2 防火管理に関すること。 3 消防用設備等の指導に関すること。 4 防火管理者の講習会及び研修会に関すること。 5 消防法(昭和23年法律第186号)第7条に基づく建築物の許可等の同意に関すること。 6 法令に基づく各種届出に関すること。 7 予防統計に関すること。 8 住民の防火組織の育成指導に関すること。 9 自衛消防の育成指導に関すること。 10 危険物防火安全協会に関すること。 11 課内の庶務事務に関すること。

予 防 課	査察指導担当	1 消防対象物の査察に関する事。 2 違反防火対象物の改善指導に関する事。 3 表示及び公表の制度に関する事。 4 住宅防火対策に関する事。
	保安担当	1 危険物の規制に関する事。 2 危険物製造所等の許認可、査察及び事故原因調査に関する事。 3 少量危険物及び指定可燃物に関する事。 4 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(昭和42年法律第149号)に基づく事務に関する事。 5 火薬類取締法(昭和25年法律第49号)に基づく事務に関する事。 6 高圧ガス保安法(昭和26年法律第204号)に基づく事務に関する事。
	火災調査担当	1 火災の原因等の調査、報告及び統計に関する事。 2 り災証明に関する事。 3 火災調査技術の研究に関する事。
警 防 課	警防担当	1 消防隊及び救助隊の教育訓練計画の企画立案に関する事。 2 警防活動体制に関する事。 3 消防相互応援協定及び広域応援に関する事。 4 消防水利に関する事。 5 救助統計に関する事。 6 国際消防救助隊に関する事。 7 課内の庶務事務に関する事。
	装備担当	1 消防車両及び消防資器材の整備に関する事。 2 消防車両の管理に関する事。 3 公用車の事故処理指導に関する事。 4 安全運転の指導に関する事。
救 急 課	救急担当	1 救急隊の教育訓練計画の企画立案に関する事。 2 救急資機材の整備に関する事。 3 医療機関等との連絡調整に関する事。 4 救急出場証明に関する事。 5 救急高度化の推進に関する事。 6 救急統計に関する事。 7 応急手当の普及及び啓発に関する事。 8 患者等搬送事業に係る認定及び指導に関する事。 9 メディカルコントロールに関する事。
指 揮 統 制 課	指令管理担当	1 消防緊急通信指令施設に関する事。 2 消防気象観測装置の管理に関する事。 3 課内の庶務事務に関する事。
	第一指令担当 及び 第二指令担当	1 緊急通報受信及び出場指令に関する事。 2 災害等の情報の収集及び連絡に関する事。 3 災害現場への支援情報に関する事。
	第一指揮担当 及び 第二指揮担当	1 災害現場における指揮活動に関する事。 2 災害現場における情報収集及び現場広報に関する事。 3 警防活動技術の調査、研究及び計画に関する事。 4 消防部隊の教育訓練の計画及び実施に関する事。
新 設 消 防 備 庁 室 舎	庁舎建設担当	1 新消防庁舎建設に関する事。

川越北消防署 南古谷分署
川越中央消防署 高階分署 大東分署
川越西消防署 名細分署
川島消防署

(川越北消防署) 統括管理課	統括管理担当	1 消防署の予算(川島町消防団予算を除く。)の執行事務に関すること。 2 署会議及び署担当会議に関すること。 3 消防署内の事務の調整に関すること。 4 職員の教養及び研修に関すること。
消防課(消防署)	指導担当	1 消防署に係る公印に関すること。 2 署長等が主宰する会議に関すること。 3 住宅防火対策に関すること。 4 管轄区域内の消防対象物の査察の実施に関すること。 5 管轄区域内の圧縮アセチレンガス等の貯蔵及び取扱いに関すること。 6 管轄区域内の防火対象物に対する防火管理指導に関すること。 7 火災予防等の計画及び実施に関すること。 8 法令に基づく届出の受理に関すること。 9 管轄区域内の消防訓練に関すること。 10 川島町消防団に関すること。(川島消防署消防課に限る。) 11 消防協会に関すること。(川島消防署消防課に限る。)
警備課(消防署)・分署	第一警備担当 及び 第二警備担当	1 水火災、救助等の災害時等の出動に関すること。 2 消防対象物の査察の実施に関すること。 3 住宅防火対策に関すること。 4 火災等の調査に関すること。 5 管轄区域内の訓練指導に関すること。 6 消防車の維持管理に関すること。 7 消防資機材の運用及び維持管理に関すること。 8 警防活動及び救助活動の研究に関すること。 9 警防調査に関すること。 10 課(分署)内の庶務事務に関すること。
	第一救急担当 及び 第二救急担当	1 救急の出動に関すること。 2 応急手当の指導に関すること。 3 救急車の維持管理に関すること。 4 救急資機材の運用及び維持管理に関すること。 5 救急医薬品に関すること。 6 救急活動の研究に関すること。
	第一救助担当 及び 第二救助担当 川越中央消防署 名細分署 川島消防署	1 水火災、救助等の災害時の出動に関すること。 2 消防対象物の査察の実施に関すること。 3 住宅防火対策に関すること。 4 火災等の調査に関すること。 5 管轄区域内の訓練指導に関すること。 6 救助工作車等の維持管理に関すること。 7 救助資機材等の運用及び維持管理に関すること。 8 救助活動の研究に関すること。 9 救助活動及び警防活動に伴う警防調査に関すること。

職員の配置状況

令和3年4月1日現在

階級 署所	消 防 監	消防監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消防士	消防吏員以外の職員	合 計
消 防 局	1	4	10	17	35	14(2)	3	3	1	88(2)
川 越 北 消 防 署		1	3	8	17	4(2)	6	8		47(2)
南 古 谷 分 署			1	4	12	3	3	10		33
川越中央消防署		1	2	9	23	14(2)	7	14		70(2)
高 階 分 署			1	4	12	5	3	8		33
大 東 分 署			1	4	14	4	2	8		33
川越西消防署		1	2	5	16	3(2)	3	12		42(2)
名 細 分 署			1	4	18	7	6	9		45
川 島 消 防 署		1	2	6	15	7(2)	8	4		43(2)
合 計	1	8	23	61	162	61(10)	41	76	1	434(10)

※()は、再任用短時間勤務職員の数を外書しています。

(単位:人)

※定数外の職員を含みます。

消防自動車の配置状況

令和3年4月1日現在

車 両 署所	水槽付 ポンプ 自動車	ポンプ 自動車	化学車	水槽車	高規格 救急車	救 助 工作車	はしご車	指揮車	調査車	指令車	後 方 支援車	警防車	広報車	その他	合 計	小 型 動 力 ポンプ
消 防 局								1	1	3				1(赤バイ) 6(連絡車)	12	
川 越 北 消 防 署		1	1		1		1					1	1	1(マイクロ) 1(連絡車)	8	2
南 古 谷 分 署	1	1			2							1	1		6	1
川 越 中 央 消 防 署		2	1		2	1	1					1	1	1(連絡車)	10	1
高 階 分 署	1	1			1		1						1		5	1
大 東 分 署		1	1	1	1								1		5	1
川越西消防署	1	2			2		1						1	1(連絡車)	8	1
名 細 分 署	1	1			2	1					1	1	1		8	1
川 島 消 防 署	1	1			1	1						1	1	1(起震車) 1(連絡車)	8	1
合 計	5	10	3	1	12	3	4	1	1	3	1	5	8	13	70	9

(単位:台)

基準消防力と現有消防力の比較

令和3年4月1日現在

区分	基準消防力(署)	現有消防力(署)	充足率(%)
署所の数	10	8	80

区分	基準台数	現有台数	充足率(%)	基準人員	現有人員	充足率(%)
消防ポンプ自動車	15	13	87	411	320	78
はしご車	3	4	133			
化学車	3	3	100			
救急車	11	9	82			
救助工作車	3	3	100			
指揮車	2	1	50			
特殊車両等	20	20	100			
非常用消防自動車	2	2	100			
非常用救急車	2	3	150			
通信員				18	16	89
予防要員				70(16)	54(16)	77
庶務処理等の人員				67	68	101
合計				550	442	80

※ 表中の数値は、消防力の整備指針が定める算出基準によるものです。

※ () は、交代制勤務の職員による兼務要員の数を内書きしたもので、合計に重複計上していません。

※ 現有人員は、再任用短時間勤務職員を含みます。

川越市・川島町予算（一般会計）消防組合予算（当初）

(1) 市・町予算に対する消防組合の割合

区分 年度	川越市予算 (千円)	川島町予算 (千円)	合 計 (千円)	消防組合 予 算 (千円)	市町予算 合計額に 対する組合 予算の割合 (%)	住民1人 当たりの 組合予算 (円)	消防職員1人 当たりの常 備消防予算 (円)
令和元年度	111,550,000	6,774,000	118,324,000	5,466,574	4.6	14,645	11,390,472
令和2年度	115,850,000	7,146,000	122,996,000	6,327,576	5.1	16,949	13,550,970
令和3年度	112,070,000	6,935,000	119,005,000	5,401,425	4.5	14,479	11,320,659

(2) 市・町予算に対する消防組合負担金等の割合

区分 年度	川 越 市 負 担 金 等 (千円)	市 予 算 に 対 す る 負 担 割 合 (%)	川 島 町 負 担 金 等 (千円)	町 予 算 に 対 す る 負 担 割 合 (%)	共通経費負担割合	
					川 越 市 (%)	川 島 町 (%)
令和元年度	4,556,262	4.1	515,090	7.6	90	10
令和2年度	4,818,781	4.2	544,552	7.6	90	10
令和3年度	4,418,310	3.9	508,382	7.3	90	10

※ 負担金等：負担金及び受託料を含む

消防組合予算（当初）

(1) 歳 入

区 分	令 和 2 年 度		令 和 3 年 度	
	予 算 額(千円)	構成割合(%)	予 算 額(千円)	構成割合(%)
分 担 金 及 び 負 担 金	5,354,193	84.6	4,916,870	91.0
使 用 料 及 び 手 数 料	4,528	0.1	4,588	0.1
県 支 出 金	12,700	0.2	6,020	0.1
財 産 収 入	1,061	0.0	1,938	0.0
繰 越 金	20,000	0.3	165,440	3.1
諸 収 入	26,094	0.4	27,669	0.5
組 合 債	909,000	14.4	278,900	5.2
歳 入 合 計	6,327,576	100.0	5,401,425	100.0

(2) 歳 出

年度予算額等 区 分	令 和 2 年 度		令 和 3 年 度	
	予 算 額 (千円)	構成割合(%)	予 算 額 (千円)	構成割合(%)
議 会 費	6,751	0.1	5,464	0.1
総 務 管 理 費	3,922	0.1	3,234	0.1
監 査 委 員 費	388	0.0	388	0.0
常 備 消 防 費	5,867,570	92.7	4,913,166	91.0
非 常 備 消 防 費	136,389	2.2	115,747	2.1
水 利 施 設 費	79,569	1.3	91,671	1.7
自 警 消 防 費	6,082	0.1	6,701	0.1
水 防 費	3,058	0.0	3,121	0.1
公 債 費	219,347	3.5	257,433	4.8
予 備 費	4,500	0.1	4,500	0.1
歳 出 合 計	6,327,576	100.0	5,401,425	100.0

消防組合予算性質別内訳（当初）

年度予算額等 区 分	令 和 2 年 度		令 和 3 年 度	
	予 算 額 (千円)	構成割合(%)	予 算 額 (千円)	構成割合(%)
人 件 費	4,270,156	67.5	4,155,260	76.9
物 件 費	478,633	7.6	451,835	8.4
維 持 補 修 費	12,095	0.2	7,886	0.1
補 助 費 等	217,472	3.4	216,178	4.0
普 通 建 設 事 業 費	1,125,273	17.8	308,233	5.7
公 債 費	219,347	3.5	257,433	4.8
積 立 金	100	0.0	100	0.0
予 備 費	4,500	0.1	4,500	0.1
歳 出 合 計	6,327,576	100.0	5,401,425	100.0

※ 構成割合(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入しています。
したがって、構成割合は、合計が100%とにならない場合があります。

消防庁舎の現況

令和3年4月1日現在

署 所	所 在 地	建築年月日	構 造	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	延面積 (㎡)
消 防 局	〒350-0823 川越市神明町48-4	S49.11.21 H 4.10. 5 (増築)	鉄筋コンクリート造3階建 鉄筋コンクリート造3階建	4,103.26	791.80 238.06	2,237.66
川越北消防署	消防局と併用	-	-	-	-	-
南古谷分署	〒350-0011 川越市大字久下戸 3528-1	S61. 6.25	鉄筋コンクリート造 2階建一部平屋建	2,432.00	367.02	451.08
川越中央消防署	〒350-1124 川越市新宿町 2-14-7	H10.11.13	鉄筋コンクリート造3階建	3,097.26	918.145	1,772.93
高 階 分 署	〒350-1137 川越市大字砂新田 16-3	S47. 8.30	鉄筋コンクリート造3階建	1,755.72	409.01	1,038.13
大 東 分 署	〒350-1119 川越市南大塚1-1-9	S54. 3.15 H30. 3.28 (増築)	鉄筋コンクリート造平屋建 鉄骨造平屋建	1,578.08	398.80 48.59	441.55
川越西消防署	〒350-1108 川越市伊勢原町5-3	H 6. 3.31	鉄筋コンクリート造3階建	1,598.72	528.00	1,490.08
名 細 分 署	〒350-0815 川越市大字鯨井 589-1	H16. 3.31	鉄筋コンクリート造2階建	3,535.00	1,053.16	1,498.66
川島消防署	〒350-0131 川島町大字平沼888	H 5. 7.12	鉄筋コンクリート造2階建	5,135.53	715.27	1,136.02

令和2年度主要な施設等の整備

事 業 名		事 業 内 容	事 業 費
施設 関係	庁舎等整備	川越中央消防署屋上防水改修工事	14,710,300
	消防局 庁舎建設	川越地区消防局・川越北消防署新庁舎建設事業用地の取得	532,491,779
備 品 関 係	車両等整備	消防ポンプ自動車(川越中央消防署)	46,090,000
		消防ポンプ自動車(川越西消防署 名細分署)	41,228,000
		高規格救急自動車(川越北消防署 南古谷分署)	19,305,000
		高規格救急自動車(川越中央消防署)	19,305,000
		高規格救急自動車(川越中央消防署 高階分署)	19,305,000

(単位:円)

職員定数・実員の推移

各年4月1日現在

	定 数	実 員	定数条例改正年月日		定 数	実 員	定数条例改正年月日
昭和 48年	165	143	昭和48年4月1日	平成 11年	361	360	平成11年4月1日
49年	166	166	昭和49年4月1日	12年	371	368	平成12年4月1日
50年	167	167	昭和50年4月1日	13年	377	375	平成13年4月1日
51年	167	167		14年	391	391	平成14年4月1日
52年	167	166		15年	407	407(2)	平成15年4月1日
53年	174	167	昭和53年4月1日	16年	424	424	平成16年4月1日
54年	195	195	昭和54年4月1日	17年	424	424	
55年	203	202	昭和55年4月1日	18年	428	428	平成18年4月1日
56年	207	207	昭和56年4月1日	19年	428	428	
57年	212	212	昭和57年4月1日	20年	428	428	
58年	215	214	昭和58年4月1日	21年	428	427(2)	
59年	215	214		22年	428	428(5)	
60年	215	214		23年	428	428(12)	
61年	236	233	昭和61年4月1日	24年	428	428(14)	
62年	236	236		25年	428	428(12)	
63年	236	235		26年	428	428(19)	
平成 元年	240	237	平成元年4月1日	27年	428	428(13)	
2年	240	240		28年	428	427(17)	平成28年4月1日 定数外の職員に係る規定の追加
3年	250	244	平成3年4月1日				
4年	267	265	平成4年4月1日	29年	428	428(11)	
5年	287	286	平成5年4月1日	30年	428	429(8)	
6年	320	308	平成6年4月1日	令和 元年	433	434(6)	平成31年4月1日
7年	325	323	平成7年4月1日	2年	433	432(8)	
8年	337	337	平成8年4月1日	3年	433	434(10)	
9年	342	340	平成9年4月1日				
10年	352	352	平成10年4月1日				

※()は、再任用短時間勤務職員の数を外書しています。
 ※平成28年度以降の実員については、定数外の職員を含みます。

職員の年齢

令和3年4月1日現在

階級等 年齢	消 防 吏 員								消 防 吏 員 以 外 の 職 員	合 計
	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士		
18歳								3		3
19歳								2		2
20歳								5		5
21歳								5		5
22歳								11		11
23歳								4		4
24歳								10		10
25歳								12		12
26歳								10		10
27歳								8		8
28歳							9	1		10
29歳							7	3		10
30歳							6	2		8
31歳						3	9			12
32歳						4	1			5
33歳						8	4			12
34歳						4	3			7
35歳						10	1			11
36歳					1	11	1			13
37歳					4	8				12
38歳					3	4				7
39歳					9	2				11
40歳					13	2				15
41歳					15	2				17
42歳					17					17
43歳					17	1				18
44歳					19	2				21
45歳				1	22				1	24
46歳				6	15					21
47歳				10	16					26
48歳				7	7					14
49歳				6						6
50歳				7	1					8
51歳				12	1					13
52歳			2	2						4
53歳			8	3						11
54歳		1	6	3	1					11
55歳		1	3	1						5
56歳		1		1	1					3
57歳		2	1							3
58歳		1	3	1						5
59歳	1	2		1						4
60歳						5				5
61歳						4				4
62歳										0
63歳						1				1
64歳										0
平 均	59.0	56.9	54.3	49.8	43.5	35.8 (60.7)	30.5	24.0	45.0	39.5 (60.7)
合 計	1	8	23	61	162	61 (10)	41	76	1	434 (10)

※（ ）は、再任用短時間勤務職員の数を外書きしています。

※ 定数外の職員を含みます。

職員の勤続年数

令和3年4月1日現在

階級等 年数	消 防 吏 員								消 防 吏 員 以 外 の 職 員	合 計
	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士		
1年未満						(10)		16		16(10)
1年以上								8		8
2年以上								8	1	9
3年以上								14		14
4年以上								6		6
5年以上								8		8
6年以上							2	4		6
7年以上							3	5		8
8年以上							3	2		5
9年以上						3	1	5		9
10年以上						7	15			22
11年以上						6	6			12
12年以上						7	9			16
13年以上						7	2			9
14年以上					1	4				5
15年以上					3	5				8
16年以上						4				4
17年以上					10	8				18
18年以上					15	5				20
19年以上					16	1				17
20年以上					12	1				13
21年以上					12	3				15
22年以上					12					12
23年以上				1	14					15
24年以上				1	10					11
25年以上				3	14					17
26年以上				2	14					16
27年以上				2	16					18
28年以上			1	8	9					18
29年以上				17	1					18
30年以上			1	7						8
31年以上				4	1					5
32年以上			1	5	1					7
33年以上										0
34年以上			2	4						6
35年以上		3	12	4	1					20
36年以上										0
37年以上			2							2
38年以上		1		1						2
39年以上		1	2	1						4
40年以上	1	1	2	1						5
41年以上		2								2
42年以上										0
43年以上										0
44年以上										0
45年以上										0
46年以上										0
平 均	40.0	38.0	35.2	30.0	22.5	14.1 (0.0)	10.1	3.3	2.0	18.8 (0.0)
合 計	1	8	23	61	162	61 (10)	41	76	1	434 (10)

※（ ）は、再任用短時間勤務職員の数を外書きしています。

※ 定数外の職員を含みます。

職員の採用、退職等の状況

職員数等 年度	職員数 (4月1日現在)	採用人員	退職人員
平成30年	429(8)	14(1)	6(3)
令和元年	434(6)	9(1)	11(2)
令和2年	432(8)	12(4)	13(3)
令和3年	434(10)	13(4)	—

※()は、再任用短時間勤務職員の数を外書しています。

※職員数については、定数外の職員を含みます。

※令和3年度の採用人員数は、4月1日現在のものとなります。

職員の教養実施状況

(1) 消防大学校

教養課程 年度	上級 幹部科	幹部科	警防科	予防科	危険物科	救急科	救助科	火災 調査科	高度救助 コース	N B C コース	女性活躍 推進コース	合 計
平成30年	1	1					1		1	1	1	6
令和元年		1					1			1		3
令和2年	1	1		1		1		1	1	1	1	8

(単位:人)

(2) 県消防学校

教養課程 年度	初任教育	専 科						幹部教育	特別教育	合 計
		予防査察	警 防	特殊災害	救 急	救 助	火災調査			
平成30年	8	2	3	2	10	2		2	3	32
令和元年	10		3		10	2	2	2	4	33
令和2年		3	2	2	7	2		2	2	20

(単位:人)

(3) その他

- ・ 消防長訓示 毎月初旬、全職員を対象として通常点検訓示を実施しています。
- ・ 一般教養 職員を対象とした各種研修等を適宜実施しています。

消防音楽隊

儀式、式典及び諸行事に参加し、演奏によりその意義を高めるとともに市町民との融和を図り、消防業務の推進に寄与することを任務とし、平成13年4月1日に設立。消防関係行事をはじめ市町主催の各種行事にも出場し、広く市町民に対して消防に対する認識、理解を深め、防火・防災思想の普及啓発と消防のPRに努めています。

1 編 成

隊員編成

令和3年4月1日現在

隊長 1名	副隊長 3名	隊員 34名
-------	--------	--------

保有楽器

楽 器 名	数 量	楽 器 名	数 量
シ ン バ ル	1	ティンパニー	4
鉄 琴	2	ド ラ ム	1
木 琴	1	バ リ ト ン	1
ト ラ ン ペ ッ ト	5	エレキギター	1
サ ク ソ フ ォ ン	7	エレキベース	1
フレンチフオルン	4	チ ュ ー バ	2
ト ロ ン ボ ー ン	4	ユーフォニウム	2
ク ラ リ ネ ッ ト	6	コンサートドラム	1
ピ ッ コ ロ	1	チ ャ イ ム	1
フ ル ー ト	3	シ ロ ホ ン	1

2 活動状況

令和2年度

種別 月	訓練回数		出 演 状 況 内 訳			
	合同 訓練	パート 訓練	消 防 関 係	市 町 関 係	その他	備 考
4月						
5月						
6月						
7月						
8月						
9月						
10月	3	4				
11月	3	3				
12月						
1月						
2月						
3月						
合 計	6	7	0	0	0	

消防相互応援協定等の状況

令和3年4月1日現在

消防相互応援協定

	締 結 年 月 日	締 結 団 体 名
1	平成10年12月25日	比企広域市町村圏組合
2	平成11年4月1日	高崎市等広域市町村圏振興整備組合
3	平成14年4月1日	入間東部地区事務組合
4	平成18年9月5日	さいたま市
5	平成18年11月1日	上尾市
6	平成19年6月20日	埼玉県央広域事務組合・桶川市・北本市
7	平成19年7月1日	埼玉県下消防相互応援協定
8	平成20年3月10日	坂戸・鶴ヶ島消防組合
9	平成25年4月1日	埼玉西部消防組合

防災ヘリコプター応援協定

	締 結 年 月 日	締 結 団 体 名
1	平成3年3月29日	埼玉県

関越自動車道・首都圏中央連絡自動車道における消防相互応援協定

	締 結 年 月 日	締 結 団 体 名
1	平成31年4月1日	埼玉県下10消防機関

鉄道災害における鉄道事業者と消防機関との連携に関する協定

	締 結 年 月 日	締 結 団 体 名
1	平成18年12月1日	埼玉県、埼玉県下全消防機関、県内鉄道事業者(11社)

災害時における高速自動車国道等の使用の取り扱いに関する協定

	締 結 年 月 日	締 結 団 体 名
1	平成19年11月27日	埼玉県、埼玉県下全消防機関、県内埼玉DMAT登録医療機関

自衛隊又は米軍の航空事故に伴う災害が発生した場合の連絡調整に関する協定

	締 結 年 月 日	締 結 団 体 名
1	平成10年3月20日	埼玉県、埼玉県警察本部、航空自衛隊中部航空警戒管制団 他

埼玉医科大学総合医療センター場外離着陸場を利用した救急搬送に関する協定書

	締 結 年 月 日	締 結 団 体 名
1	平成26年2月1日	埼玉県、埼玉医科大学総合医療センター

救急ワークステーションの運営に関する基本協定

	締 結 年 月 日	締 結 団 体 名
1	平成30年2月7日	埼玉医科大学総合医療センター

大規模火災発生時の消火用水搬送協力に関する協定

	締 結 年 月 日	締 結 団 体 名
1	平成30年4月1日	埼玉中央生コン協同組合、株式会社川村興産 東和アークス株式会社
2	平成30年10月1日	有限会社渋谷建材、有限会社貫井建材店

災害時に必要な燃料等の優先供給に関する協定

	締 結 年 月 日	締 結 団 体 名
1	平成30年4月1日	埼玉中央農業協同組合、埼玉中央農業協同組合川島基幹支店
2	平成30年7月1日	有限会社山口油材、相沢石油店、株式会社伊藤興産、永翔石油株式会社、有限会社中村石油、野口石油株式会社

東京オリンピック競技大会ゴルフ競技消防・救急体制整備に関する応援協定

	締 結 年 月 日	締 結 団 体 名
1	令和2年3月25日	埼玉県下の市町村及び消防の一部事務組合

災害時における消防活動の協力に関する協定

	締 結 年 月 日	締 結 団 体 名
1	令和2年11月1日	株式会社ジュンテクノサービス

第32回オリンピック競技大会における救急自動車配備等の業務に関する協定

	締 結 年 月 日	締 結 団 体 名
1	令和3年3月12日	公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

予 防

法令に基づく各種届出状況

各年度

	防 火 管 理		防 災 管 理		防 火 対 象 物 使 用 開 始	発 変 電 設 備	ネ オ ン 管 灯 備	催 物
	選 解 任	消防計画	選 解 任	消防計画				
平成30年度	746	819	14	19	350	77		5
令和元年度	769	846	9	10	336	79		1
令和2年度	763	844	39	48	369	130		0

防火管理者選任届出事業所数

令和3年4月1日現在

区 分			選任 届出数	区 分			選任 届出数	区 分			選任 届出数
1イ	劇場等		2	6イ	病院等		37	12ロ	スタジオ		
1ロ	公会堂等		144	6ロ	特別養護老人ホーム等		62	13イ	駐車場等		
2イ	キャバレー等			6ハ	老人デイサービスセンター等		78	13ロ	航空機格納庫		
2ロ	遊技場等		24	6ニ	幼稚園等		28	14	倉庫		25
2ハ	性風俗特殊営業店舗等			7	学校		67	15	事務所等		106
2ニ	カラオケボックス等		7	8	図書館等		5	16イ	特定複合用途防火対象物		453
3イ	料理店等		1	9イ	特殊浴場			16ロ	非特定複合用途防火対象物		27
3ロ	飲食店		123	9ロ	一般浴場		1	16-2	地下街		
4	百貨店等		160	10	停車場等			16-3	準地下街		
5イ	旅館等		21	11	神社・寺院等		9	17	文化財		
5ロ	共同住宅等		168	12イ	工場等		92	合	計		1,640

月別建築物同意処理件数

各年度

	合 計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度	390	33	38	33	42	44	26	34	37	21	27	24	31
令和元年度	336	34	20	34	35	21	28	26	26	20	28	26	38
令和2年度	320	27	21	31	25	19	31	31	16	30	27	31	31

消防用設備等設置届出検査処理状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日

署所(区域) 消防用設備等		消防局	川越北 消防署	川越中央 消防署	川越西 消防署	川 島 消防署	合計
屋 内 消 火 栓 設 備	届 出	13	6	1	0	0	20
	検 査	10	0	0	0	0	10
スプリンクラー 設 備	届 出	31	2	3	2	0	38
	検 査	24	0	0	0	0	24
泡 消 火 設 備	届 出	1	0	0	0	0	1
	検 査	0	0	0	0	0	0
不活性ガス消火設備	届 出	1	0	1	0	0	2
	検 査	1	0	0	0	0	1
ハロゲン化物消火設備	届 出	1	0	0	0	0	1
	検 査	0	0	0	0	0	0
粉 末 消 火 設 備	届 出	5	0	0	0	0	5
	検 査	3	0	0	0	0	3
屋 外 消 火 栓 設 備	届 出	2	0	0	0	0	2
	検 査	1	0	0	0	0	1
自 動 火 災 報 知 設 備	届 出	155	37	90	22	3	307
	検 査	63	0	1	0	2	66
消防機関へ通報する 火 災 報 知 設 備	届 出	21	0	1	5	0	27
	検 査	19	0	0	0	0	19
非 常 警 報 設 備	届 出	47	7	9	4	1	68
	検 査	26	0	0	0	1	27
避 難 設 備	届 出	152	36	68	14	4	274
	検 査	77	0	0	0	0	77
合 計	届 出	429	88	173	47	8	745
	検 査	224	0	1	0	3	228

※自動火災報知設備には、共同住宅用自動火災報知設備等を含みます。

建築物同意状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日

防火対象物		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	イ、劇場等														0
	ロ、公会堂等												1		1
2	イ、キャバレー等														0
	ロ、遊技場等														0
	ハ、性風俗特殊営業店舗等														0
	ニ、カラオケボックス等														0
3	イ、料理店等														0
	ロ、飲食店		1		1	1	3		1	1	3	1		1	13
4	百貨店等			1		1			1			1			4
5	イ、旅館等														0
	ロ、共同住宅等		3	3	4	7	2	2	6	2	2	4	4	10	49
6	イ、病院等		1					1						2	4
	ロ、特別養護老人ホーム等				3	1	1	3			4	3	2	3	20
	ハ、老人デイサービスセンター等								1				1	1	3
	ニ、幼稚園等														0
7	学校							1							1
8	図書館等														0
9	イ、特殊浴場														0
	ロ、一般浴場									1		1			2
10	停車場等									1	1	1			3
11	神社・寺院等													1	1
12	イ、工場等		1	1	2		1	1	3		1	2	1	2	15
	ロ、スタジオ														0
13	イ、駐車場等		1			1									2
	ロ、航空機格納庫														0
14	倉庫		1			2	2	1	1	1	3		4		15
15	事務所等		3	2	4	1	2	5	2		3	2	2	4	30
16	イ、特定複合用途防火対象物		1		2	1		1		1	1	1	1		9
	ロ、非特定複合用途防火対象物		2		1			1	2	1					7
16-2	地下街														0
16-3	準地下街														0
17	文化財														0
18	アーケード														0
危険物施設								1	1				1		3
工作物															0
住宅(住宅の付属建築物及び併用住宅含む)			13	14	14	10	8	14	13	8	12	11	14	7	138
合 計			27	21	31	25	19	31	31	16	30	27	31	31	320

防火対象物（政令第10条以上）を有する事業所数

令和3年4月1日現在

防火対象物		署所(区域)	川越北 消防署	川越中央 消防署	川越西 消防署	川 島 消防署	合 計
1	イ、劇場等		3				3
	ロ、公会堂等		64	89	59	70	282
2	イ、キャバレー等						0
	ロ、遊技場等		7	12	8	1	28
	ハ、性風俗特殊営業店舗等						0
	ニ、カラオケボックス等			8	2		10
3	イ、料理店等		3			0	3
	ロ、飲食店		120	113	49	34	316
4	百貨店等		151	225	75	31	482
5	イ、旅館等		14	22	19		55
	ロ、共同住宅等		754	2,076	777	45	3,652
6	イ、病院等		45	53	32	7	137
	ロ、特別養護老人ホーム等		27	37	39	6	109
	ハ、老人デイサービスセンター等		74	110	71	7	262
	ニ、幼稚園等		17	23	10	2	52
7	学校		84	75	67	16	242
8	図書館等		8		1	2	11
9	イ、特殊浴場						0
	ロ、一般浴場		2	1			3
10	停車場等		1	3	2		6
11	神社・寺院等		37	38	10	4	89
12	イ、工場等		310	290	174	178	952
	ロ、スタジオ						0
13	イ、駐車場等		11	25	5	10	51
	ロ、航空機格納庫		1			2	3
14	倉庫		242	212	79	99	632
15	事務所等		247	386	175	106	914
16	イ、特定複合用途防火対象物		249	431	104	25	809
	ロ、非特定複合用途防火対象物		86	187	56	9	338
16-2	地下街						0
16-3	準地下街						0
17	文化財		9			1	10
18	アーケード						0
19	市町村長の指定する山林						0
20	総務省令で定める舟車						0
合 計			2,566	4,416	1,814	655	9,451

防火対象物立入検査実施状況

平成2年4月1日～令和3年3月31日

防火対象物		署所(区域)	消防局	川越北 消防署	川越中央 消防署	川越西 消防署	川 島 消防署	合 計
1	イ、劇場等		0	1	0	0	0	1
	ロ、公会堂等		1	1	3	3	13	21
2	イ、キャバレー等		0	0	0	0	0	0
	ロ、遊技場等		0	2	2	1	1	6
	ハ、性風俗特殊営業店舗等		0	0	0	0	0	0
	ニ、カラオケボックス等		0	0	1	2	0	3
3	イ、料理店等		0	0	0	0	0	0
	ロ、飲食店		0	42	21	0	35	98
4	百貨店等		12	62	39	11	19	143
5	イ、旅館等		2	1	9	1	0	13
	ロ、共同住宅等		7	2	4	23	0	36
6	イ、病院等		0	6	9	6	0	21
	ロ、特別養護老人ホーム等		1	8	6	39	4	58
	ハ、老人デイサービスセンター等		0	10	48	12	5	75
	ニ、幼稚園等		0	5	4	0	4	13
7	学校		0	2	0	1	0	3
8	図書館等		0	0	0	1	1	2
9	イ、特殊浴場		0	0	0	0	0	0
	ロ、一般浴場		0	0	0	0	0	0
10	停車場等		0	0	0	2	0	2
11	神社・寺院等		0	1	1	0	0	2
12	イ、工場等		4	11	2	7	33	57
	ロ、スタジオ		0	0	0	0	0	0
13	イ、駐車場等		0	0	0	0	1	1
	ロ、航空機格納庫		0	0	0	0	0	0
14	倉庫		3	3	3	2	15	26
15	事務所等		2	16	18	4	6	46
16	イ、特定複合用途防火対象物		88	49	88	27	3	255
	ロ、非特定複合用途防火対象物		0	3	6	2	2	13
16-2	地下街		0	0	0	0	0	0
16-3	準地下街		0	0	0	0	0	0
17	文化財		0	1	0	0	1	2
18	アーケード		0	0	0	0	0	0
19	市町村長の指定する山林		0	0	0	0	0	0
20	総務省令で定める舟車		0	0	0	0	0	0
合 計			120	226	264	144	143	897

防火管理資格取得者数及び再講習状況

各年度

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
甲種防火管理講習	3回 208人	3回 210人	5回 201人
乙種防火管理講習	2回 54人	2回 66人	2回 48人
甲種防火管理再講習	1回 20人	1回 24人	1回 26人

広報活動の状況

防火教室・防火講話

令和2年4月1日～令和3年3月31日

消防局		川越北消防署		川越中央消防署		川越西消防署		川 島消防署		合 計	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
1	20	21	2,817	123	13,291	27	4,657	24	2,677	196	23,462

消防署見学・来署

令和2年4月1日～令和3年3月31日

川越北消防署		川越中央消防署		川越西消防署		川島消防署		合 計	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
9	866	43	2,683	39	2,717	12	379	103	6,645

火災予防普及啓発映像貸出

各年度

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
回数	13回	10回	16回
視聴者数	1,686人	306人	1488人

危険物関係処理状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日

区 分		許可件数等			完成検査数		
		設置	変更	合計	設置	変更	合計
製 造 所			29	29		27	27
貯 所	屋 内 貯 蔵 所	3	21	24	3	20	23
	屋外タンク貯蔵所		4	4		4	4
	屋内タンク貯蔵所			0			0
	地下タンク貯蔵所	1	5	6	3	7	10
	簡易タンク貯蔵所			0			0
	移動タンク貯蔵所		4	4	1	4	5
	屋 外 貯 蔵 所			0			0
	小 計	4	34	38	7	35	42
取 扱 所	給 油 取 扱 所		36	36		34	34
	販 売 取 扱 所			0			0
	一 般 取 扱 所	2	24	26	2	23	25
	小 計	2	60	62	2	57	59
合 計		6	123	129	9	119	128

少量危険 物等届出	炉ボイラー 等届出	圧縮アセチレン ガス等届出	仮貯蔵 仮取扱承認	仮使用承認	完成検査前検査	
					水張	水圧
44	14	32	16	106	1	

数量別危険物製造所等施設数

令和3年4月1日現在

倍 数 区 分		5 倍 以 下	5 倍 を超え 10 倍 以 下	10 倍 を超え 50 倍 以 下	50 倍 を超え 100倍 以 下	100倍 を超え 150倍 以 下	150倍 を超え 200倍 以 下	200倍 を超え 1,000倍 以 下	1,000倍 を超え 5,000倍 以 下	5,000倍 を超え 10,000倍 以 下	合 計
製 造 所		1	6	8	9	2	1	5			32
貯 所	屋 内 貯 蔵 所	56	38	27	9	18	2	11	6		167
	屋外タンク貯蔵所	15	12	44	18	6	3	8			106
	屋内タンク貯蔵所	15	7	1							23
	地下タンク貯蔵所	61	17	39	10	4	5	23			159
	簡易タンク貯蔵所	1									1
	移動タンク貯蔵所	28	2	7	7						44
	屋 外 貯 蔵 所	6	4	14							24
	小 計	182	80	132	44	28	10	42	6	0	524
取 扱 所	給 油 取 扱 所		5	30	8	6	2	36			87
	販 売 取 扱 所	1		1							2
	一 般 取 扱 所	40	42	22	11	1	1	3			120
	小 計	41	47	53	19	7	3	39	0	0	209
合 計		224	133	193	72	37	14	86	6	0	765

類別危険物施設状況

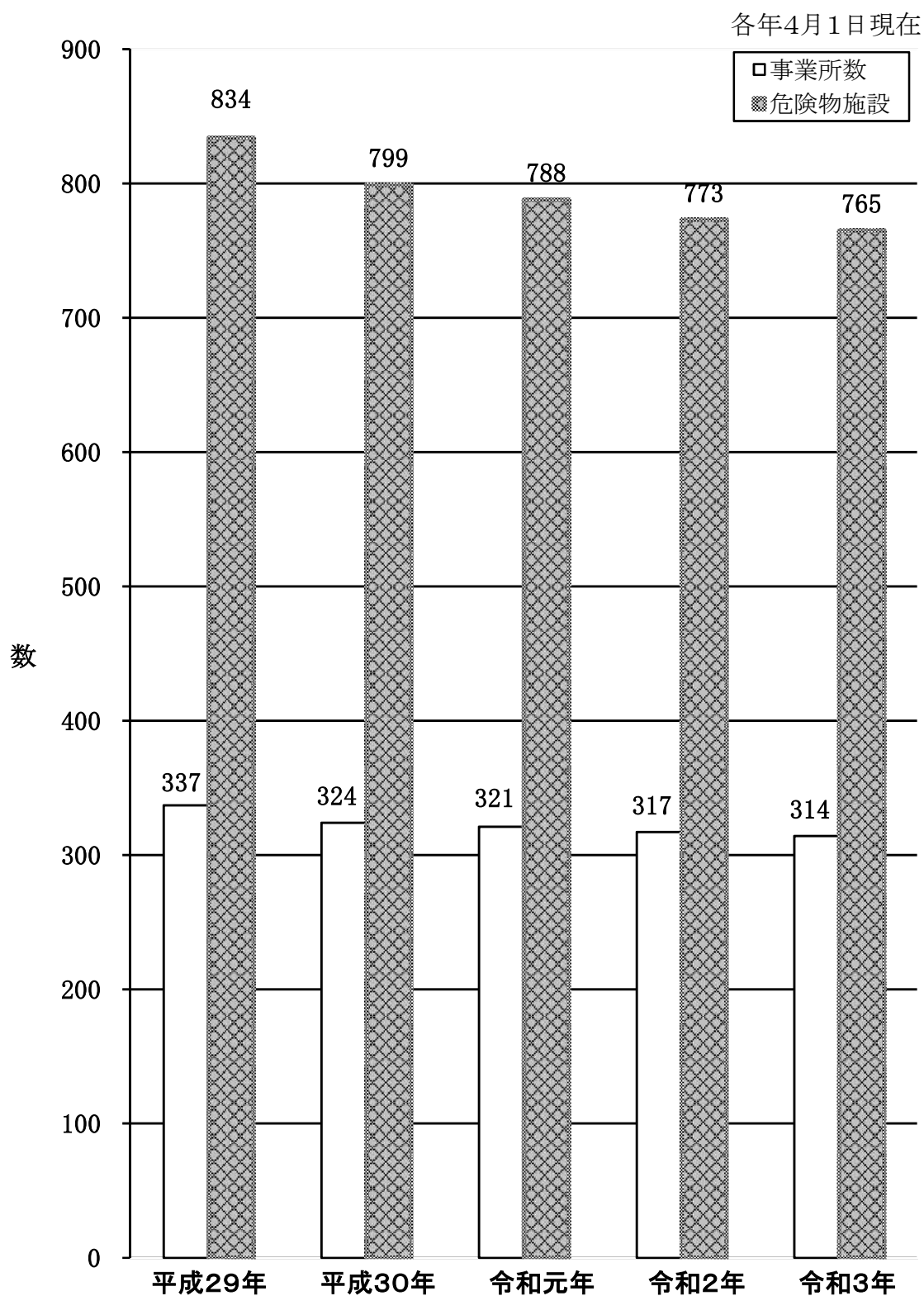
令和3年4月1日現在

区 分 \ 類 別		第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類	第 6 類	混 在	合 計
製 造 所					15			17	32
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	3			141	7		16	167
	屋外タンク貯蔵所				105	1			106
	屋内タンク貯蔵所				23				23
	地下タンク貯蔵所				159				159
	簡易タンク貯蔵所				1				1
	移動タンク貯蔵所				44				44
	屋 外 貯 蔵 所				24				24
	小 計	3	0	0	497	8	0	16	524
取 扱 所	給 油 取 扱 所				87				87
	販 売 取 扱 所				2				2
	一 般 取 扱 所				110	1		9	120
	小 計	0	0	0	199	1	0	9	209
合 計		3	0	0	711	9	0	42	765

備 考 危険物貯蔵・取扱、類別の主な内訳

第1類 塩素酸ナトリウム、過塩素酸ナトリウム、臭素酸ナトリウム、無水クロム酸
 第2類 硫黄、アルミニウム粉、マグネシウム
 第3類 ナトリウム、カリウム
 第4類 ガソリン、灯油、軽油、重油、エチルアルコール
 さく酸エチル、キシレン、トルエン
 第5類 硝化綿、ニトロ化合物、アゾ化合物、ヒドロキシルアミン
 第6類 濃硝酸、過酸化水素

危険物事業所・施設数の推移



警

防

所属別消防車両一覧表

令和3年4月1日現在

署所	号車	年式	購入年月日	自動車登録番号	備 考
消防局	指令1号車	28年	28・7・25	川越 800 さ 2377	
	指令2号車	28年	28・7・25	川越 800 さ 2378	
	指令3号車	27年	27・8・21	川越 800 さ 2139	
	指揮車	25年	25・3・15	川越 830 さ 2406	
	調査車	21年	22・1・20	川越 800 さ 909	
	連絡1号車	18年	18・11・14	川越 300 さ 328	
	連絡2号車	22年	22・3・26	川越 480 い 2623	
	連絡3号車	18年	18・10・24	川越 500 さ 568	
	連絡4号車	24年	24・9・26	川越 300 そ 8315	
	連絡5号車	27年	27・8・18	川越 300 ち 6918	
川越北消防署	連絡6号車	2年	2・9・7	川越 480 か 3207	
	赤バ イ	17年	17・11・21	0 川越 あ 1	
	化学車	26年	26・1・27	川越 830 さ 2504	1,500 ^{リットル} 薬液500 ^{リットル}
	1号車	27年	28・1・27	川越 830 さ 2706	600 ^{リットル} 圧縮空気泡消火装置付
	はしご車	17年	17・2・18	川越 830 セ 119	地上高 46.1m
	警防車	29年	29・3・10	川越 800 さ 2503	
	救急車	28年	28・11・8	川越 830 さ 2804	
	広報車	25年	25・8・15	川越 800 さ 1721	
	マイクロバス	19年	19・10・2	川越 200 さ 25	
	連絡車	22年	22・3・25	川越 480 い 2622	
南古谷分署	1号車	23年	23・1・24	川越 800 は 55	1,500 ^{リットル}
	2号車	27年	27・12・18	川越 830 す 2705	600 ^{リットル} 圧縮空気泡消火装置付
	警防車	14年	14・12・2	川越 800 さ 110	
	救急車	2年	2・12・4	川越 830 さ 2003	
	救急車	25年	25・1・31	川越 830 さ 2404	
	広報車	27年	27・8・21	川越 800 さ 2140	
川越中央消防署	化学車	29年	29・1・23	川越 830 さ 2807	1,500 ^{リットル} 薬液500 ^{リットル}
	1号車	2年	3・1・28	川越 830 さ 2004	1,300 ^{リットル}
	2号車	29年	29・12・14	川越 830 さ 2903	600 ^{リットル} 圧縮空気泡消火装置付
	はしご車	27年	27・3・13	川越 830 さ 2601	地上高30.5m
	救助工作車	24年	24・3・29	川越 830 す 2301	
	警防車	27年	27・11・13	川越 800 さ 2194	
	救急車	2年	2・11・16	川越 830 た 2002	
	救急車	29年	29・12・18	川越 830 さ 2902	
	広報車	28年	28・7・21	川越 800 さ 2373	
	連絡車	18年	18・12・4	川越 480 あ 776	
高階分署	1号車	22年	22・2・4	川越 800 は 47	1,500 ^{リットル}
	2号車	24年	25・1・15	川越 830 さ 2402	600 ^{リットル} 圧縮空気泡消火装置付
	はしご車	20年	20・2・29	川越 800 は 33	地上高15.3m 消防ポンプ付
	救急車	2年	2・10・22	川越 830 す 2001	
	広報車	18年	18・11・7	川越 800 さ 36	
大東分署	化学車	26年	26・2・6	川越 830 さ 2505	1,500 ^{リットル} 薬液500 ^{リットル}
	1号車	28年	29・1・12	川越 830 さ 2806	600 ^{リットル} 圧縮空気泡消火装置付
	水槽車	23年	23・3・17	川越 800 は 58	5,000 ^{リットル}
	救急車	2年	2・1・30	川越 830 す 1901	
	広報車	22年	22・3・26	川越 800 さ 963	
川越西消防署	1号車	21年	21・2・18	川越 800 は 40	1,500 ^{リットル}
	2号車	30年	30・11・16	川越 830 す 1801	600 ^{リットル} 圧縮空気泡消火装置付
	3号車	20年	20・2・27	川越 800 さ 470	
	はしご車	2年	2・2・25	川越 830 す 1902	地上高35.3m
	救急車	29年	29・11・9	川越 830 さ 2901	
	救急車	25年	26・1・9	川越 830 さ 2503	
	広報車	22年	22・3・26	川越 800 さ 964	
	連絡車	22年	22・3・25	川越 480 い 2624	
名細分署	1号車	30年	30・12・17	川越 830 さ 1803	1,500 ^{リットル}
	2号車	2年	2・12・24	川越 830 さ 2005	600 ^{リットル} 圧縮空気泡消火装置付
	救助工作車	30年	30・3・6	川越 830 さ 2904	
	警防車	21年	21・3・3	川越 800 さ 712	
	救急車	30年	30・12・11	川越 830 す 1802	
	救急車	25年	25・2・14	川越 830 さ 2405	
	支援車	19年	19・2・28	川越 830 た 119	
川島消防署	広報車	16年	16・3・29	川越 800 さ 124	
	1号車	31年	31・1・22	熊谷 830 す 1804	1,500 ^{リットル}
	2号車	28年	28・12・14	熊谷 830 そ 2805	600 ^{リットル} 圧縮空気泡消火装置付
	救助工作車	21年	21・2・23	熊谷 800 は 623	
	警防車	22年	22・3・25	熊谷 800 す 2793	
	救急車	31年	31・2・5	熊谷 830 そ 1805	
	広報車	27年	27・8・21	熊谷 800 す 5606	
	起震車	18年	18・1・31	熊谷 800 さ 9737	
	連絡車	27年	27・7・24	熊谷 480 す 8524	

消防水利の状況

令和3年4月1日現在

市 町	地 区 名	消 火 栓 (基)	防 火 水 そ う (基)												プ ー ル ・ 池 等
			20t未満			20t以上 40t未満			40t以上			合計			
			公設	私設	合計	公設	私設	合計	公設	私設	合計	公設	私設	合計	
川 越 市	市街地北部	873	19		19	28	5	33	49	158	207	96	163	259	10
	市街地南部	493	3		3	29	5	34	32	97	129	64	102	166	6
	芳 野 地 区	304	2		2	31		31	38	28	66	71	28	99	2
	古 谷 地 区	260	6	1	7	34	1	35	10	22	32	50	24	74	3
	南古谷地区	393			0	32	1	33	23	47	70	55	48	103	5
	高 階 地 区	496	7		7	53	7	60	29	35	64	89	42	131	10
	福 原 地 区	434	10		10	53	4	57	43	66	109	106	70	176	10
	大 東 地 区	633	7		7	59	4	63	46	95	141	112	99	211	10
	山 田 地 区	243			0	18	2	20	14	28	42	32	30	62	1
	名 細 地 区	556			0	63	7	70	52	60	112	115	67	182	12
	霞ヶ関地区	904	10		10	54	1	55	100	71	171	164	72	236	13
	小 計	5,589	64	1	65	454	37	491	436	707	1,143	954	745	1,699	82
川 島 町	中 山 地 区	149			0	12	5	17	20	81	101	32	86	118	2
	伊 草 地 区	96			0	13	3	16	18	16	34	31	19	50	2
	三保谷地区	73			0	3		3	5	10	15	8	10	18	2
	出 丸 地 区	57			0	3		3	3	7	10	6	7	13	0
	八ッ保地区	74			0	1	1	2	3	12	15	4	13	17	1
	小見野地区	53			0	9		9	4	3	7	13	3	16	0
	小 計	502	0	0	0	41	9	50	53	129	182	94	138	232	7
	合 計	6,091	64	1	65	495	46	541	489	836	1,325	1,048	883	1,931	89

警防関係各種届出状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日

届出区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
火災とまぎらわしい煙又は火災を発するおそれのある行為の届	11	10	9	8	7	12	21	30	48	25	14	11	206
煙火打上げ・仕掛け届			1				1				1	1	4
水道断滅水届	2	1	3		1			1	1	1	6		16
道路工事届	42	39	57	51	27	43	58	66	60	44	53	51	591
合 計	55	50	70	59	35	55	80	97	109	70	74	63	817

事業所消防訓練派遣状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日

事業所別 \ 訓練	消火訓練		通報訓練		避難訓練		総合訓練		合 計	
	回 数	延人員	回 数	延人員	回 数	延人員	回 数	延人員	回 数	延人員
百 貨 店							1	12	1	12
学 校							4	1,576	4	1,576
工 場・作 業 場	2	75			2	75	7	500	11	650
そ の 他	4	120	4	120	5	140	67	4,014	80	4,394
合 計	6	195	4	120	7	215	79	6,102	96	6,632

※表中の数値は、消防職員を派遣した事業所の消防訓練の回数と、当該訓練に参加した事業所の関係者の延人員です。

中高層建築物の状況

令和3年4月1日現在

階 数 防火対象物		4階		5階		6階		7階		8階		9階		10階		11階		12階		13階		14階		15階		合 計
		川 越	川 島	川 越	川 島	川 越	川 島	川 越	川 島	川 越	川 島	川 越	川 島	川 越	川 島	川 越	川 島	川 越	川 島	川 越	川 島	川 越	川 島	川 越	川 島	
1	イ 劇場、映画館 演芸場、観覧場																									3 (1)
	ロ 公会堂、集会場	3 (1)																								
2	イ キャバレー、カフェ ナイトクラブ																									5 (2)
	ロ 遊技場、 ダンスホール	3		1 (1)		1 (1)																				
	ハ 風俗関連特殊営業 を営む店舗																									1 (1)
	ニ カラオケボックス、複合 カフェ、個室ビデオ等			1 (1)																						
3	イ 待合、料理店	1																								5 (1)
	ロ 飲食店	2		2		1 (1)																				
4	百貨店、マーケット、店舗	6 (3)		4 (1)				1																		11 (4)
5	イ 旅館、ホテル 宿泊所	4 (1)		8 (4)		2 (1)		1				1		2 (1)		1										19 (7)
	ロ 寄宿舎、下宿 共同住宅	225 (114)		228 (51)	1	54 (20)		34 (13)		43 (15)		19 (11)		21 (12)		18 (10)		7 (3)		6 (2)		14 (4)		20 (5)		690 (260)
6	イ 病院、診療所 助産所	15 (3)		9 (2)		3				1		1		1												30 (5)
	ロ 特別養護老人ホーム 認知症グループホーム等	6 (2)		2 (1)		2																				10 (3)
	ハ 児童福祉施設、老人 デイサービスセンター等	2 (1)		1 (1)																						3 (2)
	ニ 幼稚園 特別支援学校																									
7	小、中、高、大学校等	74 (7)		19 (4)		5		3 (1)						1												102 (12)
8	図書館、博物館 美術館																									
9	イ 蒸気、熱気浴場等																									
	ロ その他の公衆浴場																									
10	車両の停車場等																									
11	神社、寺院、教会																									
12	イ 工場、作業所	34 (3)		8 (2)	2	1				1																46 (5)
	ロ 映画スタジオ テレビスタジオ																									
13	イ 自動車車庫	3																								3
	ロ 格納庫																									
14	倉庫	14 (1)	1	4 (1)	3	1																				23 (2)
15	各項に該当しない 事業所	39 (17)	1	27 (8)	3	10 (1)		9 (2)		4 (1)		2														95 (29)
16	イ 特定用途複合用途 防火対象物	102 (40)	2	55 (22)		39 (14)	1	21 (7)		17 (4)		9 (4)		2 (1)		3 (1)				1				1 (1)		253 (94)
	ロ その他複合用途防 火対象物	32 (18)	1	18 (7)		10 (4)		6 (3)		3 (2)		1 (1)		1 (1)		1				2						75 (36)
一般住宅																										
合 計		565 (211)	5	387 (106)	9	129 (42)	1	75 (26)		69 (22)		33 (16)		28 (15)		23 (11)		7 (3)		7 (2)		16 (4)		21 (6)		1,375 (464)

※ ()内数字は、はしご車部署不能数

※ 防火対象物の別覧については、消防法施行令別表第1参照

火災出場の状況

令和2年中

署所 月	消防局		川越北消防署		南古谷分署		川越中央消防署		高階分署		大東分署		川越西消防署		名細分署		川島消防署		合 計	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
1月	1	3									1	7	1	7	2	18			5	35
2月	5	15	4	28	2	13	4	35	2	13	3	18	1	10	2	17			23	149
3月	5	15	10	41	4	24	4	33	2	11	4	19	3	11	2	23	2	17	36	194
4月	3	10	3	15	2	16	3	39	3	15	2	14	1	4	1	4	1	7	19	124
5月	3	10	3	19			2	24	1	4	2	11	3	12	3	17	1	8	18	105
6月	4	12	5	27	1	3	3	27	2	15	2	11	3	12	3	18	2	14	25	139
7月	2	6	2	8			1	4			2	14	2	14	2	20			11	66
8月	7	21	7	42	1	7	8	53	2	14	2	13	2	11	5	31	3	17	37	209
9月	5	15	7	38	2	11	4	42	3	15	4	29	3	16	3	17			31	183
10月	2	6	2	15	1	7	1	12	1	8	1	4	1	4	1	7	1	8	11	71
11月	4	12	3	15	1	5	4	34	2	15	3	20	1	7	3	18	1	8	22	134
12月	5	15	10	61	1	8	4	38	3	18	4	25	3	14	2	15			32	194
合計	46	140	56	309	15	94	38	341	21	128	30	185	24	122	29	205	11	79	270	1,603

その他出場の状況

令和2年中

署所 種別	消防局		川越北消防署		南古谷分署		川越中央消防署		高階分署		大東分署		川越西消防署		名細分署		川島消防署		合 計	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
風 水 害 等																			0	0
演 習 ・ 訓 練	6	18	5	90	14	58	3	21	8	31	8	24	6	21	6	39	9	89	65	391
広 報 ・ 指 導	4	6	14	56	34	119	13	47	7	24	23	81	41	112	11	37	12	39	159	521
警 防 調 査			90	350	55	179	49	179	67	250	73	260	77	287	44	139	57	227	512	1,871
火 災 調 査	39	96	4	16	5	30	11	55	6	23	5	22	11	44	3	16	6	37	90	339
特 別 警 戒			21	79	12	45	21	77	19	66	21	77	9	33	25	87	27	105	155	569
捜 索			13	69			4	14							9	94	4	11	30	188
予 防 査 察	310	715	144	432	50	150	115	345	33	99	50	150	79	237	30	90	140	420	951	2,638
誤 報 等	17	51	21	104			49	305	20	109	35	178	15	70	13	76	9	36	179	929
そ の 他	30	91	291	1,169	197	823	316	1,333	229	930	256	1,015	214	824	117	455	150	617	1,800	7,257
合 計	406	977	603	2,365	367	1,404	581	2,376	389	1,532	471	1,807	452	1,628	258	1,033	414	1,581	3,941	14,703

現有消防機器

令和3年4月1日現在

区 分	器 具	署 所									
		消 防 局	川 越 北 消 防 署	南 古 谷 分 署	川 越 中 央 消 防 署	高 階 分 署	大 東 分 署	川 越 西 消 防 署	名 細 分 署	川 島 消 防 署	合 計
放水器具	ガンタイプノズル		5	5	11	5	6	8	7	5	52
	無反動ノズル		7	5	6	7	8	11	4	4	52
	放水銃		3		3	1	1	1			9
	東消式簡易発泡器		1	1	1		1				4
	ピックアップ式泡ノズル			1				1	1	1	4
	エアフォームノズル		3		3		3				9
救助器具	救命索発射銃				1				1	1	3
	可搬式ウインチ		2		1				1	3	7
	油圧ジャッキ				2				2	1	5
	マット型空気ジャッキ				1				1	1	3
	大型油圧スプレッダー				1				1	1	3
	画像探索機				1						1
	簡易画像探索機				1				1	1	3
	熱画像直視装置	1	2	1	2	1	1	1	2	2	13
	地中音響探知機				1						1
	夜間用暗視装置				2				1	1	4
	二酸化炭素探査装置				1						1
	地震警報器				1						1
	電磁波探査装置				2						2
破壊器具	エンジンカッター		2	1	4	1	1	2	3	2	16
	チェーンソー		2	1	3	1	1	2	2	3	15
	大型油圧切断機				1				1	1	3
	エアカッター				2				2		4
	エアソー				1				1	2	4
	ハンマードリル				2				3	2	7
	削岩機				1				1	1	3
	酸素溶断機				1				1	1	3
水難救助器具	救命ボート		1	1	1				3	1	7
	船外機		1	1	1				2	1	6
	潜水器具								15		15
	人命検索スバリ		5	2	2				1	2	12
身体保護器具	空気呼吸器	2	16	10	24	15	11	19	16	17	130
	酸素呼吸器				5				5	5	15
	陽圧式化学防護服				15				5	5	25
	耐熱防護服		2	2	4	2	2	2	2	4	20
	放射線防護服				5				5	5	15
	耐電用防護服		4		6	4		4	2	2	22
測定器	ガス検知器		1	1	2	1	1	1	2	2	11
	放射線測定器		3	2	5	1	1	2	4	4	22
	ポケット線量計		5	5	15	5	5	5	13	10	63
その他	除染シャワー		2		1				1		4
	除染材散布器		2		4				2		8
	エアーテント		2	2					3		7

指

令

無線局一覽

令和3年4月1日現在

基地局名称	移動局	アナログ種別	デジタル種別	出 力		通信方式
かわごえしょうぼう デジタル基地局 1 (12装置)	車両無線機	署活系 1 2 共通	1	アナログ無線 署活携帯 1W	デジタル基地局	アナログ
	積載台数56台		統制波		10W	1波単信
	デジタル移動局 121局		3			
	(車載57局)、(可搬10局)		主運用波		デジタル移動局	デジタル
	(携帯54局)		1		車載 5W	2波複信
	アナログ移動局 93局	共通	2		可搬 5W	
	(署活93局)		3		携帯 2W	

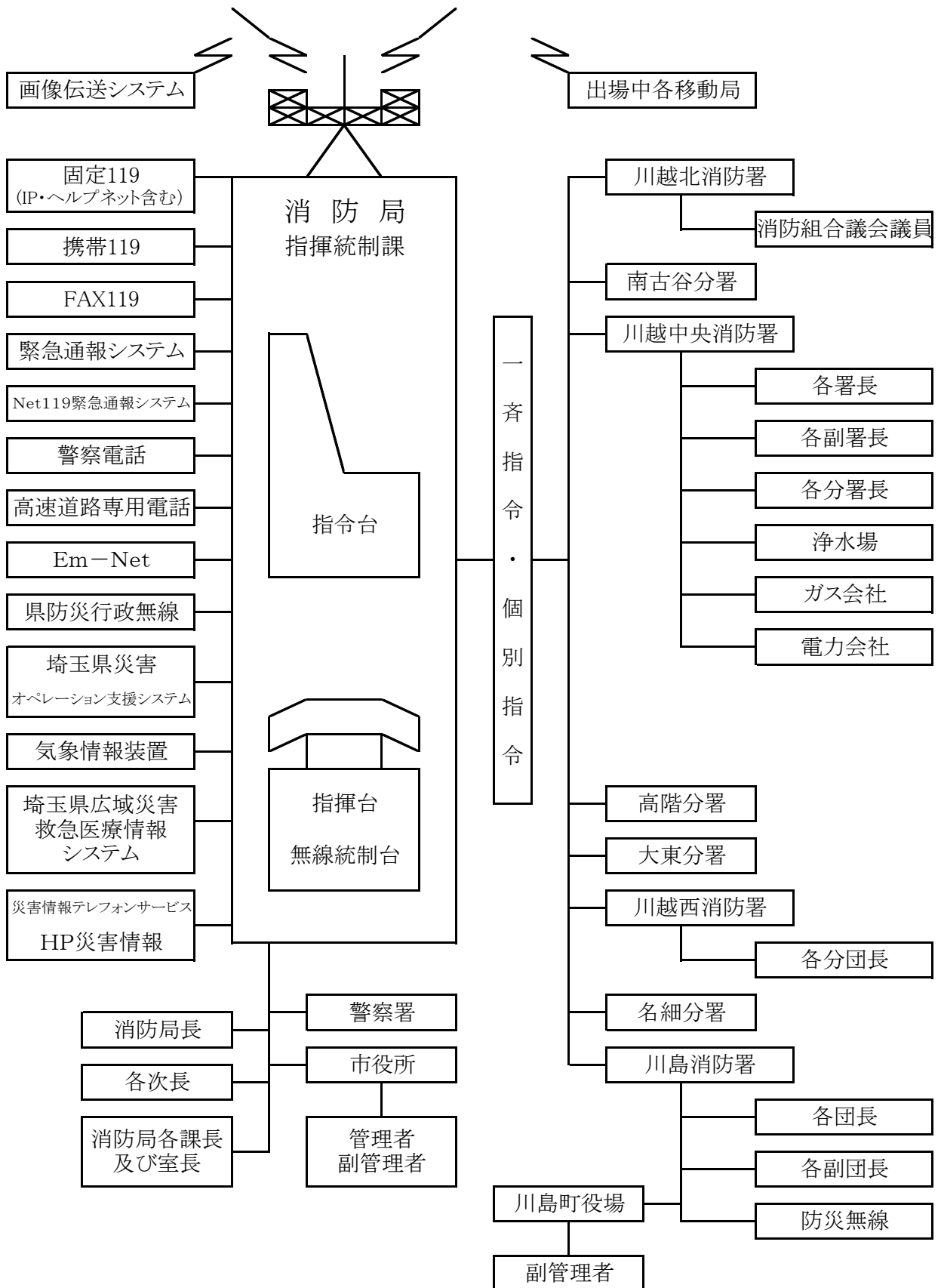
移動局呼出名称

署所	番号	呼出名称	署所	番号	呼出名称	署所	番号	呼出名称	署所	番号	呼出名称
消防局	1	かわごえしれい	1	1	みなみふるやしき(可搬)	1	1	たかしなしき(可搬)	1	1	なぐわししき(可搬)
	2	かわごえしれい	2	2	みなみふるや	1	2	たかしな	2	2	なぐわし
	3	かわごえしれい	3	3	みなみふるや	2	3	たかしな	1	3	なぐわし
	4	かわごえしき(車載)	1	4	みなみふるやけいぼう	1	4	たかしなはしご	1	4	なぐわしきゅうじょ
	5	かわごえしき(車載)	2	5	みなみふるやこうほう	1	5	たかしなこうほう	1	5	なぐわしけいぼう
	6	かわごえしき(可搬)	3	6	みなみふるやきゅうきゅう	1	6	たかしなきゅうきゅう	1	6	なぐわしこうほう
	7	かわごえしき(可搬)	4	7	みなみふるやきゅうきゅう	2	7	たかしな	101	7	なぐわしきゅうきゅう
	8	かわごえしき(可搬)	1	8	みなみふるや	101	8	たかしな	102	8	なぐわしきゅうきゅう
	9	かわごえしき	101	9	みなみふるや	102	9	たかしな	103	9	かわごえしき
	10	かわごえしき	102	10	みなみふるや	201	10	たかしな	201	10	なぐわし
	11	かわごえしき	101	11	みなみふるや	202	11	だいたいしき(可搬)	1	11	なぐわし
	12	かわごえしき	101				12	だいたいしき(可搬)	1	12	なぐわし
	13	かわごえしき	102				13	だいたいしき	1	13	なぐわし
	14	かわごえしき	103				14	だいたいしき	1	14	なぐわし
	15	かわごえしき	104				15	だいたいしき	1	15	なぐわし
	16	かわごえしき	105				16	だいたいしき	1	16	なぐわし
川越中央消防署	1	かわごえきたしき(可搬)	1	1	かわごえちゅうおうしき(可搬)	1	1	かわごえにししき(可搬)	1	1	かわじましき(可搬)
	2	かわごえきたかがく	1	2	かわごえちゅうおうかがく	1	2	かわごえにし	2	2	かわじま
	3	かわごえきた	1	3	かわごえちゅうおうけいぼう	1	3	かわごえにし	1	3	かわじま
	4	かわごえきたはしご	1	4	かわごえちゅうおうこうほう	2	4	かわごえにし	3	4	かわじまきゅうじょ
	5	かわごえきたけいぼう	1	5	かわごえちゅうおうきゅうきゅう	1	5	かわごえにし	101	5	かわじまけいぼう
	6	かわごえきたこうほう	1	6	かわごえちゅうおうきゅうきゅう	2	6	かわごえにし	1	6	かわじまきゅうきゅう
	7	かわごえきたきゅうきゅう	1	7	かわごえちゅうおう	101	7	かわごえにし	2	7	かわじま
	8	かわごえきた	101	8	かわごえちゅうおう	102	8	かわごえにし	1	8	かわじま
	9	かわごえきた	102	9	かわごえちゅうおう	103	9	かわごえにし	101	9	かわじま
	10	かわごえきた	103	10	かわごえちゅうおう	104	10	かわごえにし	102	10	かわじま
	11	かわごえきた	104	11	かわごえちゅうおう	105	11	かわごえにし	103	11	かわじま
	12	かわごえきた	105	12	かわごえちゅうおう	201	12	かわごえにし	201	12	かわじま
	13	かわごえきた	201	13	かわごえちゅうおう	202	13	かわごえにし	101	13	かわじま
川越北消防署				14	かわごえちゅうおう	301	14	かわごえにし	102		
				15	かわごえちゅうおう	302	15	かわごえにし	103		
							16	かわごえにし	104		
							17	かわごえにし	105		
							18	かわごえにし	201		
							19	かわごえにし			

移動局(署活系無線機)呼出名称

署所	番号	呼出名称	署所	番号	呼出名称	署所	番号	呼出名称	署所	番号	呼出名称					
消防局	1	かわごえしき	10	川越中央消防署	1	かわごえちゅうおう	10	川越西消防署	6	だいとう	30	川島消防署	1	かわじま	10	
	2	かわごえしき	11		2	かわごえちゅうおう	11		7	だいとう	31		2	かわじま	11	
	3	かわごえしき	12		3	かわごえちゅうおう	12		8	だいとうきゅうきゅう	10		3	かわじま	12	
	4	かわごえちようさ	10		4	かわごえちゅうおう	20		9	だいとうきゅうきゅう	11		4	かわじま	20	
	5	かわごえちようさ	11		5	かわごえちゅうおう	21		名細分署	1	かわごえにし		10	5	かわじま	21
	6	かわごえしれい	10		6	かわごえちゅうおう	30			2	かわごえにし		11	6	かわじまきゅうじょ	10
	7	かわごえしれい	11		7	かわごえちゅうおう	31			3	かわごえにし		12	7	かわじまきゅうじょ	11
	8	かわごえしれい	12		8	かわごえちゅうおう	32			4	かわごえにし		20	8	かわじまきゅうきゅう	10
	9	かわごえしれい	13		9	かわごえちゅうおう	33			5	かわごえにし		21	9	かわじまきゅうきゅう	11
	10	かわごえしれい	14		10	かわごえちゅうおうきゅうじょ	10	6		かわごえにし	30					
	11	かわごえしれい	15		11	かわごえちゅうおうきゅうじょ	11	7	かわごえにし	31						
川越北消防署	1	かわごえきた	10		12	かわごえちゅうおうきゅうきゅう	10	8	かわごえにし	32						
	2	かわごえきた	11		13	かわごえちゅうおうきゅうきゅう	11	9	かわごえにし	33						
	3	かわごえきた	12		14	かわごえちゅうおうきゅうきゅう	20	10	かわごえにしきゅうきゅう	10						
	4	かわごえきた	20		15	かわごえちゅうおうきゅうきゅう	21	11	かわごえにしきゅうきゅう	11						
	5	かわごえきた	21	高階分署	1	たかしな	10	大東分署	1	なぐわし	10					
	6	かわごえきた	30		2	たかしな	11		2	なぐわし	11					
	7	かわごえきた	31		3	たかしな	12		3	なぐわし	12					
	8	かわごえきたきゅうきゅう	10		4	たかしな	20		4	なぐわし	20					
	9	かわごえきたきゅうきゅう	11		5	たかしな	21		5	なぐわし	21					
南谷谷分署	1	みなみふるや	10		6	たかしな	30		6	なぐわしきゅうじょ	10					
	2	みなみふるや	11		7	たかしな	31		7	なぐわしきゅうじょ	11					
	3	みなみふるや	12		8	たかしなききゅうきゅう	10		8	なぐわしきゅうきゅう	10					
	4	みなみふるや	20		9	たかしなききゅうきゅう	11		9	なぐわしきゅうきゅう	11					
	5	みなみふるや	21	1	だいとう	10	10	なぐわしきゅうきゅう	20							
	6	みなみふるやきゅうきゅう	10	2	だいとう	11	11	なぐわしきゅうきゅう	21							
	7	みなみふるやきゅうきゅう	11	3	だいとう	12										
	8	みなみふるやきゅうきゅう	20	4	だいとう	20										
	9	みなみふるやきゅうきゅう	21	5	だいとう	21										

消防通信系統図



通信施設の状況

令和3年4月1日現在

	合計	消防局	南古谷 分署	川越中央 消防署	高階分署	大東分署	川越西 消防署	名細分署	川島消防署
		川越北消防署							
指令専用回線	8	1	1	1	1	1	1	1	1
内線専用回線	32	4	4	4	4	4	4	4	4
駆け付け通報装置	8	1	1	1	1	1	1	1	1
119回線 固定電話 (IP・ヘルプネット含む)	8	8							
衛星通信専用回線	2	2							
携帯119受信回線	4	4							
携帯119転送回線	2	2							
緊急通報システム	2	2							
一般回線	18	8	1	2	1	1	2	1	2
携帯電話機	37	8	4	6	3	3	4	5	4
衛星可搬端末機	13	5	1	1	1	1	1	1	2
FAX専用回線	12	5	1	1	1	1	1	1	1
指令台専用回線	2	2							
メンテナンス回線	1	1							
警察電話	1	1							
高速道路専用電話	1	1							
災害情報テレホンサービス	1	1							
市役所庁内電話	4	4							
消防無線電話	214	49	20	34	19	19	24	27	22
ヘリテレ画像受信装置	2	2							
Em-Net	3	2							1
Net119緊急通報システム	1	1							
IP無線	2	2							

＊ 災害情報テレホンサービス

川越地区消防組合管内の火災等の災害情報を提供しています。

電話番号:0180-994-310

119番受信回数

令和2年中

種別 月	合計	火災	救急	救助	警戒	その他							
						病院案内	いたずら	誤報	同報	通報訓練	回線試験	転送	その他
合 計	25,019	122	16,149	89	278	429	587	1,017	759	640	663	483	3,803
1 月	2,262	8	1,548	5	29	51	32	108	65	34	47	38	297
2 月	2,061	16	1,368	8	21	25	20	88	67	64	38	48	298
3 月	2,044	14	1,293	8	18	25	51	96	56	78	63	40	302
4 月	1,706	7	1,079	5	19	25	27	62	55	13	79	36	299
5 月	1,837	5	1,143	5	23	49	41	76	45	34	61	39	316
6 月	1,863	7	1,197	5	16	38	71	82	59	37	55	28	268
7 月	2,010	4	1,306	4	17	41	40	73	62	44	47	39	333
8 月	2,468	16	1,669	12	26	37	18	97	85	42	51	54	361
9 月	2,071	10	1,327	13	29	44	63	73	56	76	56	31	293
10 月	2,133	6	1,412	4	20	16	78	68	62	80	68	32	287
11 月	2,258	13	1,384	9	28	39	72	81	93	86	54	51	348
12 月	2,306	16	1,423	11	32	39	74	113	54	52	44	47	401

携帯119番受信状況

令和2年中

種 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
火 災	5	4	8	3	3	1	2	6	4	2	7	7	52
救 急	622	580	515	471	511	534	584	764	591	613	618	579	6,982
救 助	2	6	1	2	2	1		4	4	2	3	3	30
警 戒	5	6	4	7	6	1	3	9	5	7	10	8	71
病院案内	37	17	12	19	30	28	32	22	36	14	24	27	298
いたずら	32	16	49	27	39	69	40	18	62	77	72	74	575
誤 報	61	54	67	43	41	51	51	63	47	48	57	62	645
同 報	28	28	28	26	22	31	29	41	30	32	47	30	372
通報訓練	4	6	6	1	2	5		3	7	6	8		48
回線試験	1	2	3	2	1	4	1	5	4	11	3		37
転 送	34	48	37	35	37	27	37	52	30	30	51	46	464
その他	104	114	108	121	110	111	144	133	115	117	172	173	1,522
合 計	935	881	838	757	804	863	923	1,120	935	959	1,072	1,009	11,096

緊急通報システム受信状況

令和2年中

種 月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
火 災														0
救 急		3	5	7	1	6	1	1	7	5	6	8	6	56
警戒等		5	3	1	1	2	4	3	3	2		5	10	39
相 談			1		4			2	7	6	2			22
その他	誤 報	15	10	13	21	13	18	9	21	27	20	22	11	200
	テスト通報	17	80	9	14	26	16	21	119	587	107	39	22	1,057
	電池切れ	4	2	7	4	1	4	7	4	9	2	9	3	56
	その他	3	1				1	1	2	2		1	1	12
合 計		47	102	37	45	48	44	44	163	638	137	84	53	1,442

病院照会に関する記録

令和2年中

	119番	携帯119番	一般加入	その他	合 計
小児科	1	24	4		29
内 科	61	125	9		195
歯 科	2	8	1		11
産婦人科	1	4	1		6
外 科	20	48	10		78
耳鼻科	6	14			20
眼 科	6	9			15
脳外科	7	7	3		17
その他	27	59	11		97
小 計	131	298			
合 計	429		39		468

気象状況表

令和2年中

区分 月	温度(℃)			湿度(%)			
	最高	最低	平均	最高	最低	平均	平均実効湿度
1月	18.6	-0.5	6.4	95.2	22.5	59.7	59.7
2月	18.8	-4.0	7.2	95.8	15.0	52.2	52.5
3月	25.8	0.2	10.1	96.3	15.0	58.2	56.8
4月	25.7	3.6	12.4	96.1	19.9	59.4	59.7
5月	30.9	8.7	19.5	96.3	13.8	67.2	66.9
6月	34.2	17.3	23.5	96.6	33.0	75.9	74.6
7月	33.9	17.1	23.9	97.2	38.0	86.3	85.5
8月	39.0	21.4	29.5	96.3	36.3	69.8	70.6
9月	36.6	14.2	24.1	96.6	28.3	78.8	78.7
10月	27.0	8.0	17.1	96.3	23.0	70.8	71.9
11月	25.3	2.8	12.8	96.3	18.3	61.9	61.0
12月	16.5	-2.6	6.5	92.2	10.2	56.5	57.4
	年最高	年最低	年平均	年最高	年最低	年平均	年平均
	39.0	-4.0	16.1	97.2	10.2	66.4	66.3

令和2年中

区分 月	風速(m/s)		降雨(mm)		
	最大	平均	降雨日	降雨量	日最高
1月	18.4	2.0	8	96.0	44.0
2月	19.8	2.3	6	13.0	8.0
3月	24.9	2.4	10	100.0	31.5
4月	22.0	2.7	11	231.5	91.0
5月	19.4	2.2	15	113.0	57.0
6月	18.1	2.2	15	160.0	43.5
7月	18.6	1.7	27	230.5	36.0
8月	13.8	2.1	5	47.0	43.0
9月	15.8	2.0	18	202.0	57.0
10月	15.7	1.8	8	178.5	62.5
11月	20.3	1.9	3	8.0	4.0
12月	21.6	1.6	1	1.0	1.0
	年最大	年平均	合計	合計	日最高
	24.9	2.1	127	1,380.5	91.0

火

災

令和2年中の火災概要

1 火災件数

令和2年中の火災件数は75件で、前年に比較して34件減少している。

また、出火率(人口1万人あたりの出火件数)は約2.0件となっている。

火災種別の構成比は、建物火災が全体の約72.0%(54件)で、最も高い比率を占めている。

次いで、その他火災(屋外のゴミ屑や枯草等)の約17.3%(13件)、車両火災の約10.6%(8件)となっている。

特に建物火災54件のうち、住宅・共同住宅における火災が62.9%(34件)を占めている。

2 損害額

損害額は1億7,225万1千円で、前年と比較して1億8,311万3千円の減少となり、このうち建物火災の損害額は1億6,378万2千円で、全体の約95.1%を占めている。

なお、建物火災の損害額は、建物火災1件あたり約303万3千円で、1日あたりでは約44万9千円となっている。

3 建物焼損面積

建物焼損床面積は1,327㎡で、前年と比較して1,157㎡の減少となり、建物火災1件あたりの焼損床面積は約24.6平方メートルで、前年と比較して13.6㎡の減少となっている。

4 出火原因

出火原因は多い順に、たばこ及びこんろが8件(10.6%)、電気機器及び放火が6件(8.0%)、放火の疑いが5件(6.6%)となっている。

5 死傷者

火災による死者は2人発生し、前年と比較して7人の減少となっている。

負傷者は14人発生し、前年と比較して1人の増加となっている。

火災の概況

令和2年中

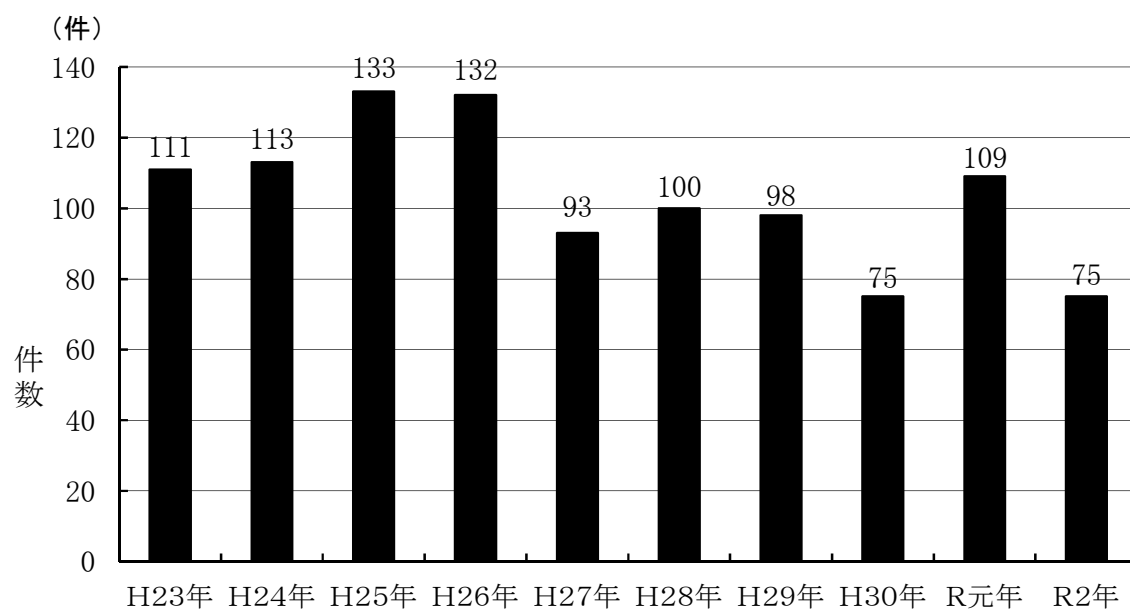
		川 越 地 区	川 越 市	川 島 町
火 災 件 数		75 件	64 件	11 件
建 物	建 物	54 件	47 件	7 件
	林 野	0 件	0 件	0 件
	車 両	8 件	6 件	2 件
	船 舶	0 件	0 件	0 件
	航 空 機	0 件	0 件	0 件
	そ の 他	13 件	11 件	2 件
焼 損 棟 数		82 棟	72 棟	10 棟
全 焼	全 焼	15 棟	13 棟	2 棟
	半 焼	2 棟	2 棟	0 棟
	部 分 焼	25 棟	23 棟	2 棟
	ぼ や	40 棟	34 棟	6 棟
建物焼損床面積		1,327 m ²	1,234 m ²	93 m ²
建物焼損表面積		431 m ²	409 m ²	22 m ²
林野焼損面積		0 a	0 a	0 a
死 傷 者		16 人	16 人	0 人
死 傷 者	死 者	2 人	2 人	0 人
	負 傷 者	14 人	14 人	0 人
り 災 世 帯		57 世帯	55 世帯	2 世帯
全 損	全 損	9 世帯	9 世帯	0 世帯
	半 損	2 世帯	2 世帯	0 世帯
	小 損	46 世帯	44 世帯	2 世帯
り 災 人 員		133 人	126 人	7 人
損 害 額		172,251 千円	161,641 千円	10,610 千円
建 物	建 築 物	122,168 千円	114,691 千円	7,477 千円
	収 容 物	41,614 千円	38,827 千円	2,787 千円
	林 野	0 千円	0 千円	0 千円
	車 両	7,506 千円	7,162 千円	344 千円
	航 空 機	0 千円	0 千円	0 千円
	そ の 他	963 千円	961 千円	2 千円
出 火 率		2.0 件	1.8 件	5.5 件

※ 出火率は人口1万人当りの火災件数

火災件数の推移（１０年間）

各年

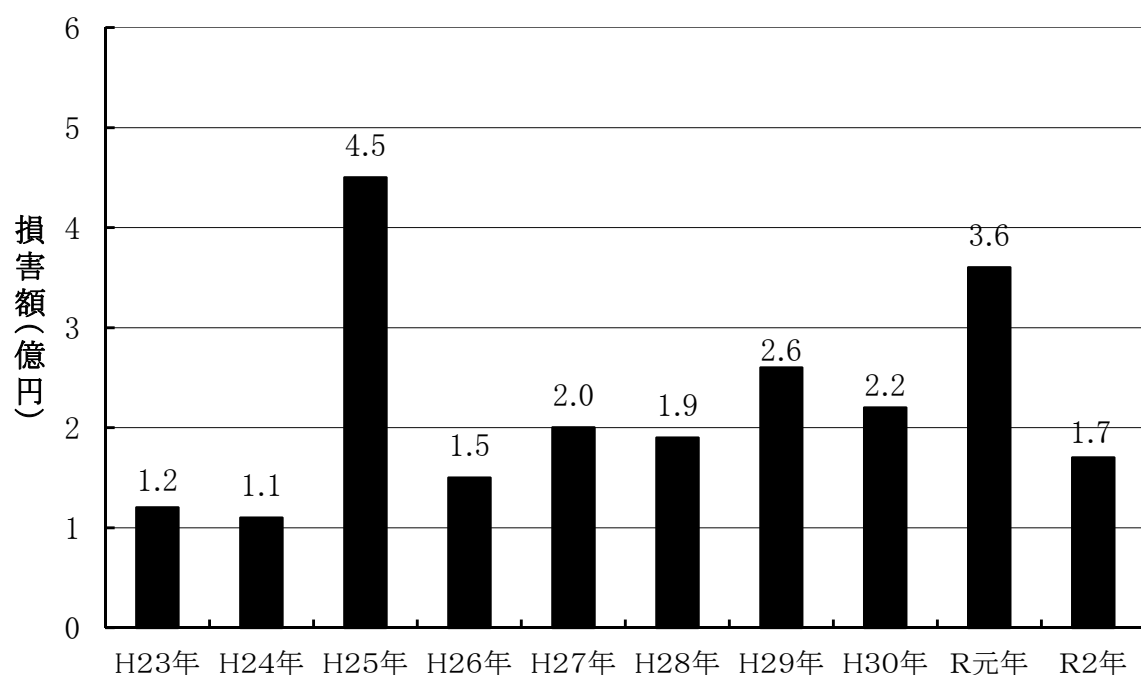
	川 越 地 区							川 越 市							川 島 町						
	件	建	林	車	船	航	そ	件	建	林	車	船	航	そ	件	建	林	車	船	航	そ
	数	物	野	両	舶	空	の	数	物	野	両	舶	空	の	数	物	野	両	舶	空	の
H23年	111	48		13			50	93	44		12			37	18	4		1			13
H24年	113	60		12			41	90	49		9			32	23	11		3			9
H25年	133	70		7			56	114	66		7			41	19	4					15
H26年	132	62		15			55	118	52		14			52	14	10		1			3
H27年	93	49		8			36	75	42		8			25	18	7					11
H28年	100	51		14			35	87	44		13			30	13	7		1			5
H29年	98	60		6			32	82	54		4			24	16	6		2			8
H30年	75	38		13			24	65	34		11			20	10	4		2			4
R 元 年	109	65		10			34	88	59		7			22	21	6		3			12
R 2 年	75	54		8			13	64	47		6			11	11	7		2			2



火災損害状況の推移（１０年間）

各年（単位：千円）

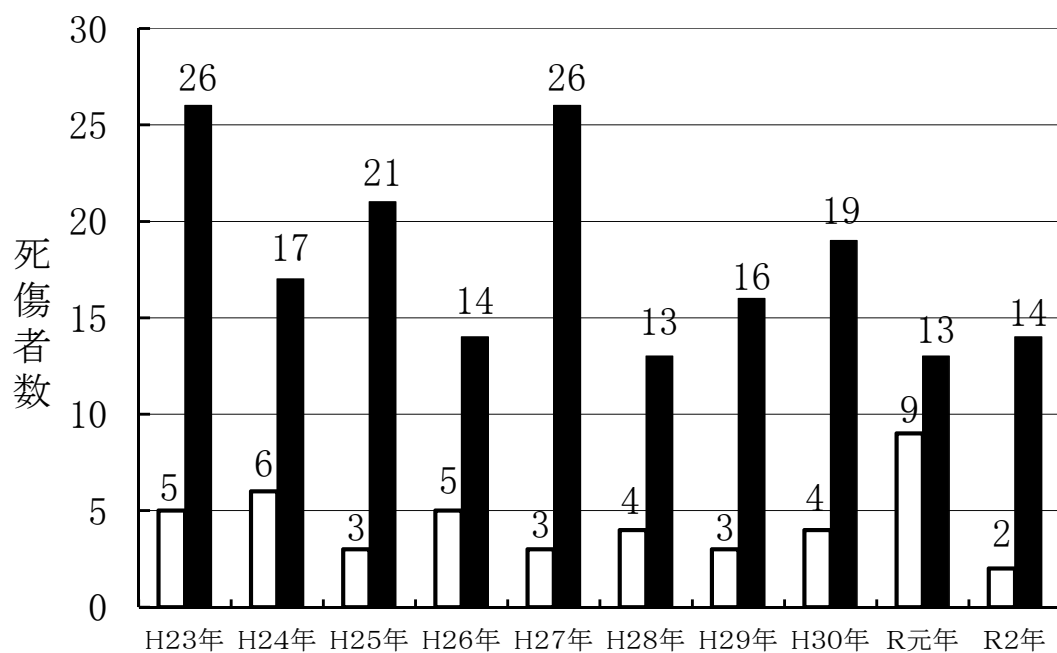
	川越地区	川越市	川島町
H23年	1 2 0, 7 7 9	6 6, 3 5 5	5 4, 4 2 4
H24年	1 0 6, 1 6 7	9 7, 2 8 3	8, 8 8 4
H25年	4 4 6, 4 8 6	4 3 7, 7 5 7	8, 7 2 9
H26年	1 5 0, 7 9 5	1 0 9, 8 1 0	4 0, 9 8 5
H27年	2 0 0, 0 1 7	1 8 8, 4 0 5	1 1, 6 1 2
H28年	1 8 9, 3 9 6	1 5 9, 2 1 2	3 0, 1 8 4
H29年	2 6 2, 9 9 0	2 2 4, 9 5 6	3 8, 0 3 4
H30年	2 1 5, 4 7 5	1 5 5, 2 7 9	6 0, 1 9 6
R元年	3 5 5, 3 6 4	3 1 3, 0 5 5	4 2, 3 0 9
R 2 年	1 7 2, 2 5 1	1 6 1, 6 4 1	1 0, 6 1 0



火災による死傷者の推移（１０年間）

各年(単位:人)

	川越地区		川越市		川島町	
	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者
H23年	5	26	4	24	1	2
H24年	6	17	6	13		4
H25年	3	21	3	21		
H26年	5	14	5	13		1
H27年	3	26	3	24		2
H28年	4	13	4	12		1
H29年	3	16	2	15	1	1
H30年	4	19	3	18	1	1
R元年	9	13	9	11		2
R2年	2	14	2	14		



□川越地区死者 ■川越地区負傷者

地区別の出火原因

令和2年中(単位:件)

	本庁管内	芳野	古谷	南古谷	高階	福原	大東	山田	名細	霞ヶ関	川島	合計
たばこ	3				1		2			2		8
こんろ	2				1	1	1			3		8
かまど												0
風呂かまど												0
炉												0
焼却炉											1	1
ストーブ	1		1	1	1							4
こたつ												0
ボイラー												0
排気管							1					1
電気機器	1			1			1		2	1	0	6
電気装置											1	1
電灯・電話等の配線											3	3
内燃機関		1										1
配線器具										2		2
火あそび	1		1							1		3
マッチ・ライター		1										1
たき火											1	1
溶接機・切断機												0
灯 火	1			1					1			3
衝突の火花												0
取 灰												0
火 入 れ	1										1	2
放 火	4			1			1					6
放火の疑い					1	1		1	1		1	5
そ の 他	6		1	1	1	1				2	3	15
不 明			1	1						2		4
合 計	20	2	4	6	5	3	6	1	4	13	11	75

※その他とは、落雷等の上記項目に該当しないもの。

出火原因別火災件数の推移（１０年間）

各年

	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年
たばこ	14	9	9	5	10	10	13	8	17	8
こんろ	10	12	10	9	10	3	9	5	2	8
かまど									2	
風呂かまど										
炉							1			
焼却炉		4	4	1			3	1	1	1
ストーブ	3	3	1	4	4	1	5	2	5	4
こたつ										
ボイラー	1	1								
排気管	1		2	4		7	1	3	2	1
電気機器	2	1	3	1	2	2	3	2	8	6
電気装置	1	2	1	1	2		1	1	2	1
電灯・電話等の配線	2	4	2	2	3	2	3	3	8	3
内燃機関		2								1
配線器具	4	3	5	7	1	2	5	4	3	2
火あそび	4	2	3	1	1		2	2	1	3
マッチ・ライター	2	3	3	3	1		1	1		1
たき火	3						1		6	1
溶接機・切断機	1	2				1		1		
灯 火	1	2	4		1	1		1	1	3
衝突の火花		1	1		1		1	1		
取 灰	1	1	1			1		1		
火 入 れ	3	6	7	3	3	4	4	2	6	2
放 火	7	7	6	36	12	22	10	11	10	6
放火の疑い	18	15	33	21	16	16	12	5	5	5
そ の 他	24	27	29	23	17	19	18	15	25	15
不 明	9	6	9	11	9	9	5	6	5	4
合 計	111	113	133	132	93	100	98	75	109	75

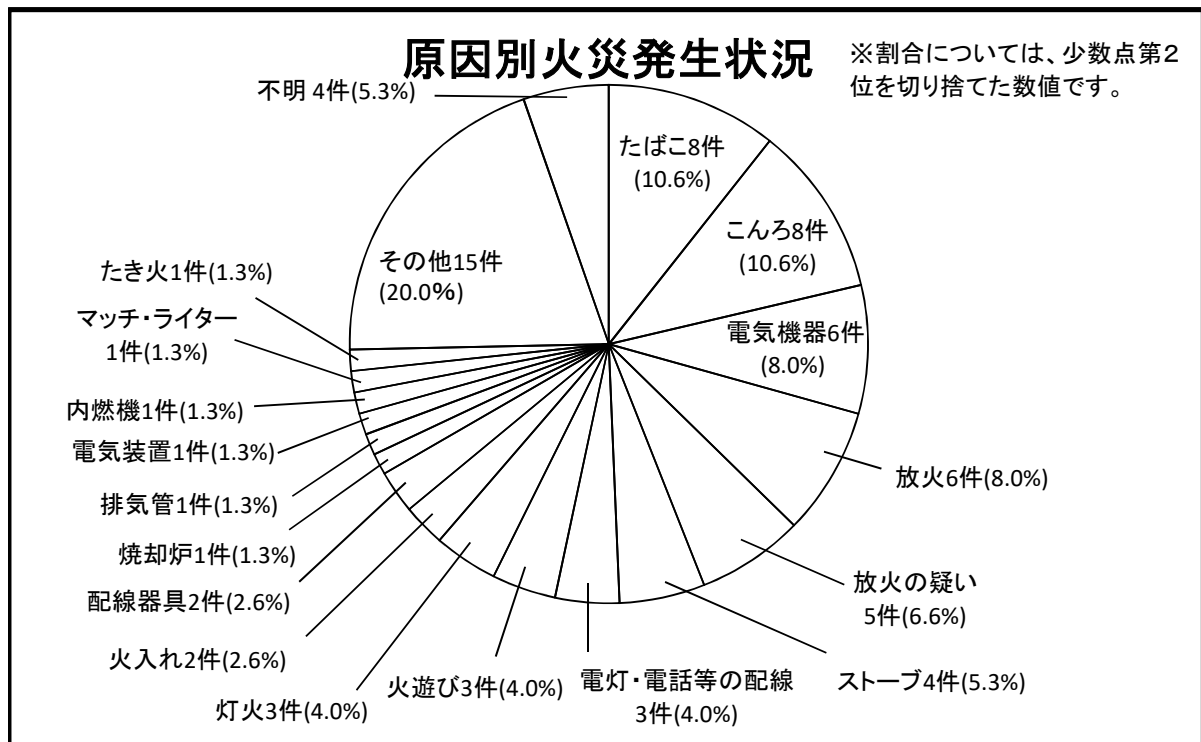
※その他とは、落雷等の上記項目に該当しないもの。

出火原因別火災件数

令和2年中

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
たばこ				1	1			1	1		3	1	8
こんろ			1		3	1	2				1		8
かまど													0
風呂かまど													0
炉													0
焼却炉								1					1
ストーブ		1		1							2		4
こたつ													0
ボイラー													0
排気管								1					1
電気機器		2	1	1					1			1	6
電気装置										1			1
電灯・電話等の配線					1	1		1					3
内燃機関係												1	1
配線器具									1	1			2
火遊び			1						1			1	3
マッチ・ライター									1				1
たき火			1										1
溶接機・切断機													0
灯火		1	1						1				3
衝突の火花													0
取灰													0
火入れ		1				1							2
放火		1	1		2	1						1	6
放火の疑い	1			2				1			1		5
その他		1	3			1		1	2	2	1	4	15
不明	1			1				2					4
合計	2	7	9	6	7	5	2	8	8	4	8	9	75

※その他とは落雷等、上記項目に該当しないもの。



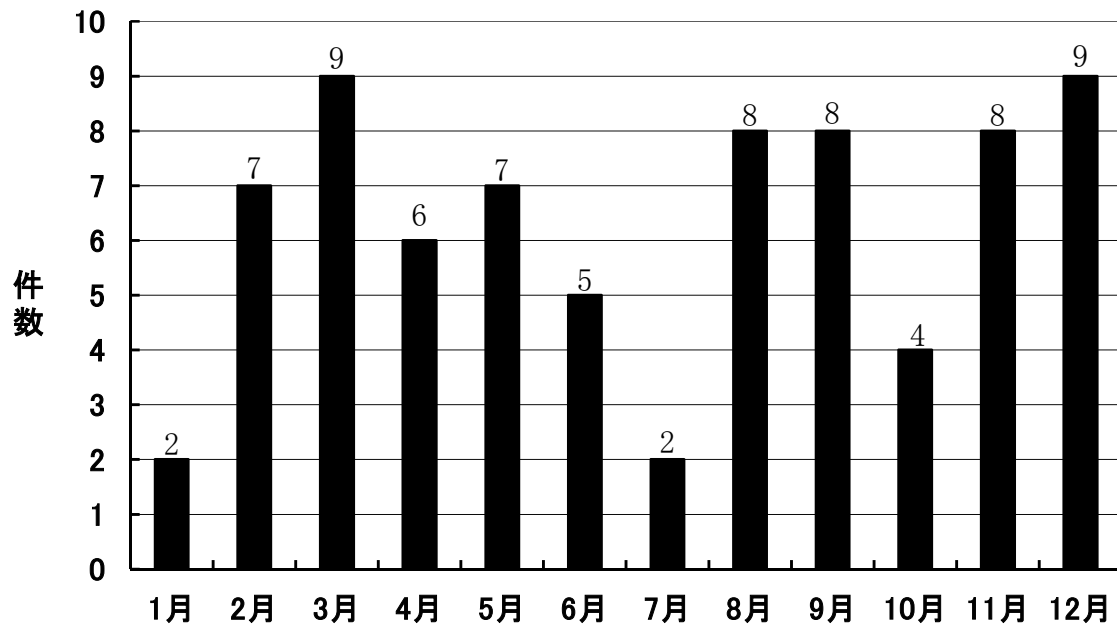
月別火災概況

令和2年中

		単位	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災件数	建物		1	5	4	4	7	5	2	5	6	3	5	7	54
	林野														0
	車両			1	1					2	1	1	1	1	8
	船舶														0
	航空機														0
	その他		1	1	4	2				1	1		2	1	13
	合計	件	2	7	9	6	7	5	2	8	8	4	8	9	75
建物	焼損床面積	m ²		1	340	283	93	72		326	68	10	66	68	1,327
	焼損表面積		11	20	116	47	6	75		95	12	20	28	1	431
死傷者	死者					1								1	2
	負傷者			1	1	1	1	1			4	1	4		14
	合計	人		1	1	2	1	1			4	1	4	1	16
り災世帯		世帯	1	2	6	8	6	7	1	7	8		5	6	57
り災人員		人	2	3	15	14	17	16	2	17	20		12	15	133

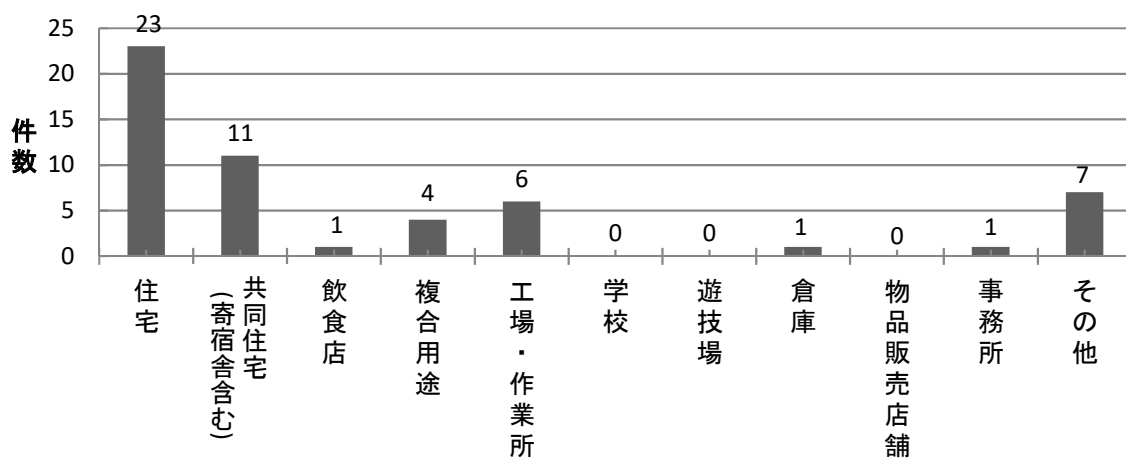
月別火災件数

令和2年中



建物用途別火災件数

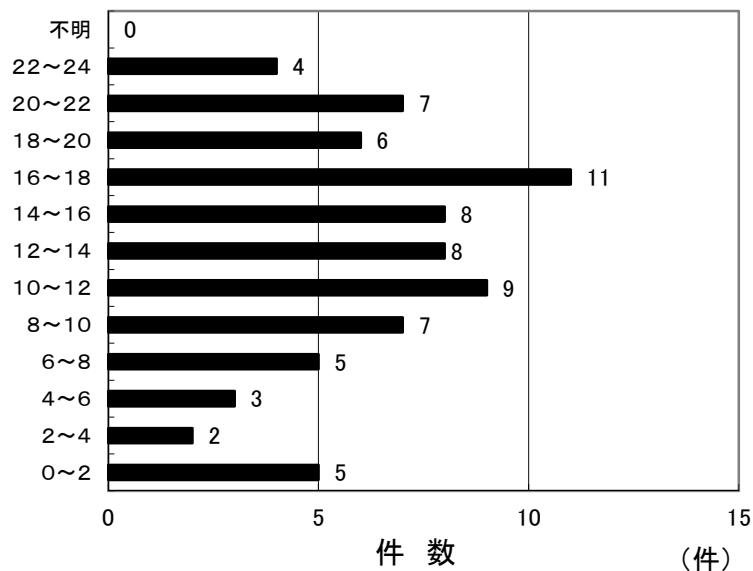
令和2年中



(時)

時間別火災発生件数

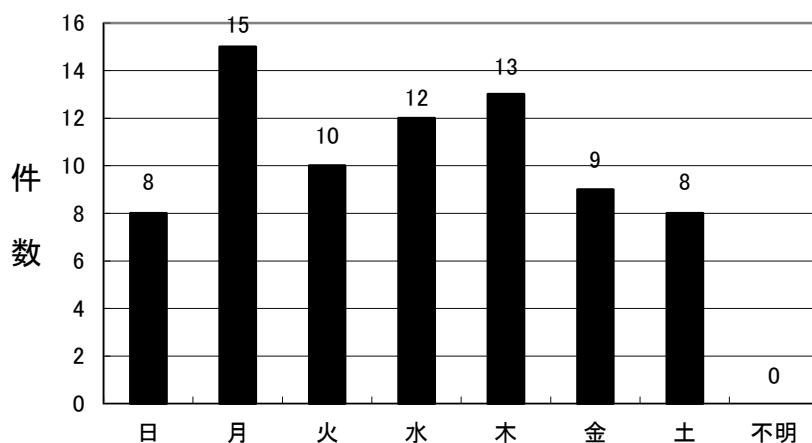
令和2年中



時間	件数
0~2	5
2~4	2
4~6	3
6~8	5
8~10	7
10~12	9
12~14	8
14~16	8
16~18	11
18~20	6
20~22	7
22~24	4
不明	0
合 計	75

曜日別火災発生件数

令和2年中



曜日	件数
日	8
月	15
火	10
水	12
木	13
金	9
土	8
不明	0
合 計	75

救急・救助

令和2年中の救急・救助の概要

1 救急の概要

令和2年中の救急出場件数は、16,226件(前年18,118件)、搬送人員13,633人(前年15,473人)で、前年に比較し救急出場件数は1,892件(10.4%)、搬送人員は1,840人(11.9%)減少しています。

また、一日の平均出場件数は44.3件(前年49.6件)で、約32.5分に1回(前年29.0分に1回)の割合で出場し、住民27.4人に1人(前年24.1人に1人)が搬送されたことになります。

(1) 事故種別の状況

事故種別の構成比は、急病が全体の62.9%(10,203件)で、最も高い比率を占めている。次いで、一般負傷14.4%(2,335件)、その他11.8%(1,922件)となっており、11種類に分類される救急事故の中で、急病と一般負傷が全体の77.3%を占めている。

(2) 署所別の状況

署所別の構成比は、川越中央消防署26.9%(4,363件)、高階分署14.0%(2,271件)、川越北消防署13.2%(2,143件)、川越西消防署11.9%(1,929件)に次いで名細分署10.4%(1,683件)、次いで大東分署、南古谷分署、川島消防署となっており、8署のうち7署で年間出場件数が1,000件を超えている。

(3) 医療機関別搬送人員

医療機関(接骨院等を含む。以下同じ。)へ搬送された傷病者は13,633人で、このうち、75.8%(10,330人)が組合管内10の救急病院へ、3.1%(421人)が組合管内の救急病院以外の医療機関へ、21.1%(2,882人)が組合管外の医療機関へ搬送された。

(4) 時間別救急出場件数

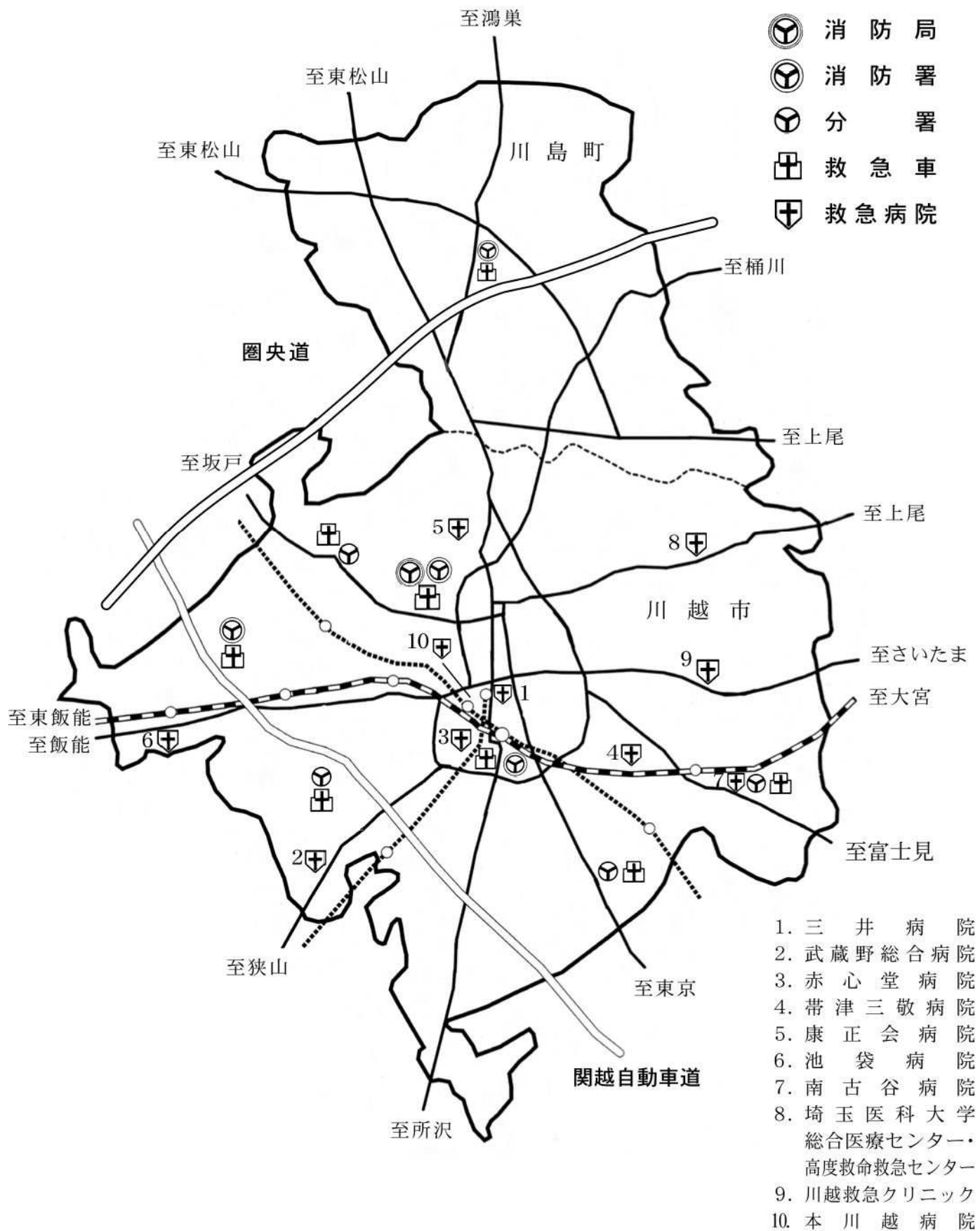
時間別救急出場件数は、10時～12時が2,037件、12時～14時が1,942件、8時～10時が1,783件の順となっている。また、一番少ない時間帯は2時～4時で624件となっている。

2 救助の概要

令和2年中の救助出場件数は171件(前年247件)、救助活動件数は130件(前年181件)で、前年と比較して、出場件数が76件(約30.8%)減少し、救助活動件数が51件(約28.2%)の減少となっている。

救助活動件数の事故種別の構成比は、建物火災とその他がそれぞれ全体の約31.5%(41件)で最も高く、全体の約63.1%を占めている。次いで、交通事故が約19.2%(25件)、建物以外の火災と水難事故がそれぞれ約7.7%(10件)となっている。

救急車の配置及び救急病院配置図



救 急 活 動

救急活動の推移（１０年間）

各年

出 場 年	搬 送	事故 種別	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
			災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	の	計
H23	出場件数		69	5	8	1,679	157	106	1,844	128	214	9,217	1,679	15,106 [1,928]
	搬送人員		22	4		1,658	157	101	1,678	103	131	8,189	1,296	13,339
H24	出場件数		72	1	8	1,709	144	121	1,954	110	204	9,611	1,675	15,609 [2,111]
	搬送人員		19	1	2	1,708	144	124	1,760	88	142	8,345	1,333	13,666
H25	出場件数		95	2	11	1,746	153	129	2,039	97	171	9,735	1,562	15,740 [2,288]
	搬送人員		20	2	1	1,694	150	129	1,826	71	102	8,384	1,247	13,626
H26	出場件数		71	1	2	1,664	126	138	2,125	106	183	10,076	1,651	16,143 [2,268]
	搬送人員		11		1	1,642	122	136	1,898	74	122	8,729	1,294	14,029
H27	出場件数		72		6	1,604	128	148	2,161	101	165	10,471	1,772	16,628 [2,396]
	搬送人員		23		2	1,557	124	146	1,931	75	93	9,033	1,396	14,380
H28	出場件数		67	1	5	1,665	168	158	2,233	121	136	10,759	1,802	17,115 [2,394]
	搬送人員		11	1	4	1,643	165	154	1,989	90	91	9,365	1,375	14,888
H29	出場件数		62	1	6	1,678	148	141	2,299	109	147	10,976	2,045	17,612 [2,495]
	搬送人員		16		2	1,654	145	140	2,046	77	90	9,598	1,535	15,303
H30	出場件数		47	1	7	1,662	176	158	2,416	110	151	11,445	2,063	18,236 [2,744]
	搬送人員		18	1		1,535	172	145	2,164	71	94	9,972	1,475	15,647
R元	出場件数		72	5	4	1,531	169	133	2,446	94	158	11,411	2,095	18,118 [2,784]
	搬送人員		13	2	1	1,448	166	129	2,199	62	93	9,977	1,383	15,473
R2	出場件数		49		5	1,227	165	78	2,335	84	158	10,203	1,922	16,226 [2,684]
	搬送人員		16			1,111	158	75	2,062	62	104	8,790	1,255	13,633

※ []は不搬送件数

月別救急活動の状況

令和2年中

出 場 月	搬 送	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
1月	出場件数		1			117	12	9	225	8	16	1,012	158	1,558
	搬送人員					107	12	9	195	3	12	867	105	1,310
2月	出場件数		5			114	7	5	210	3	15	838	185	1,382
	搬送人員		1			100	7	5	188	3	7	735	123	1,169
3月	出場件数		6			94	12	2	177	17	8	818	167	1,301
	搬送人員		1			86	11	2	156	14	7	692	109	1,078
4月	出場件数		5			84	7	2	165	7	6	696	111	1,083
	搬送人員		2			74	7	2	147	5	5	602	76	920
5月	出場件数		3		1	71	11	2	161	5	11	760	121	1,146
	搬送人員		1			66	10	2	137	3	8	645	75	947
6月	出場件数		6			91	13	3	177	4	11	733	162	1,200
	搬送人員		2			88	13	3	163	4	8	643	104	1,028
7月	出場件数		2			99	16	6	189	7	15	821	150	1,305
	搬送人員					91	16	6	167	4	13	711	102	1,110
8月	出場件数		4		2	106	19	9	191	6	13	1,111	216	1,677
	搬送人員					98	16	8	170	4	7	967	124	1,394
9月	出場件数		6		2	106	14	10	176	11	15	841	159	1,340
	搬送人員		4			89	12	9	146	9	10	713	106	1,098
10月	出場件数		2			115	21	9	243	6	20	831	165	1,412
	搬送人員		1			104	21	9	215	6	9	723	119	1,207
11月	出場件数		3			121	14	14	221	3	19	841	149	1,385
	搬送人員		4			102	14	14	197	2	12	725	93	1,163
12月	出場件数		6			109	19	7	200	7	9	901	179	1,437
	搬送人員					106	19	6	181	5	6	767	119	1,209
合計	出場件数		49	0	5	1,227	165	78	2,335	84	158	10,203	1,922	16,226
	搬送人員		16	0	0	1,111	158	75	2,062	62	104	8,790	1,255	13,633

事故種別傷病程度別搬送人員

令和2年中

事故種別 傷病程度	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
死 亡				1	1		7		12	216	1	238
重 症	2			49	13	3	110		23	720	261	1,181
中 等 症	4			197	50	23	697	12	36	3717	899	5,635
軽 症	10			864	94	49	1248	50	32	4137	94	6,578
そ の 他									1			1
合 計	16	0	0	1,111	158	75	2,062	62	104	8,790	1,255	13,633

※ 傷病程度は、初診時における医師の診断に基づき、次のとおり分類する。

(救急業務実施状況調記載要領による)

- 1 死 亡 初診時において死亡が確認されたもの
- 2 重 症 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
- 3 中等症 傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの
- 4 軽 症 傷病の程度が入院を必要としないもの
- 5 その他 医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

事故種別年齢区分別搬送人員

令和2年中

事故種別 年齢区分	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
新 生 児										8	91	99
乳 幼 児				19			140			250	29	438
少 年				91		45	47	3	9	208	22	425
成 人	5			691	131	26	447	50	80	2795	371	4,596
高 齢 者	11			310	27	4	1428	9	15	5529	742	8,075
合 計	16	0	0	1,111	158	75	2,062	62	104	8,790	1,255	13,633

※ 年齢区分は、次のとおり分類する。

(救急業務実施状況調記載要領による)

- 1 新生児 生後28日未満の者
- 2 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
- 3 少 年 満7歳以上満18歳未満の者
- 4 成 人 満18歳以上満65歳未満の者
- 5 高齢者 満65歳以上の者

署所別救急活動の状況

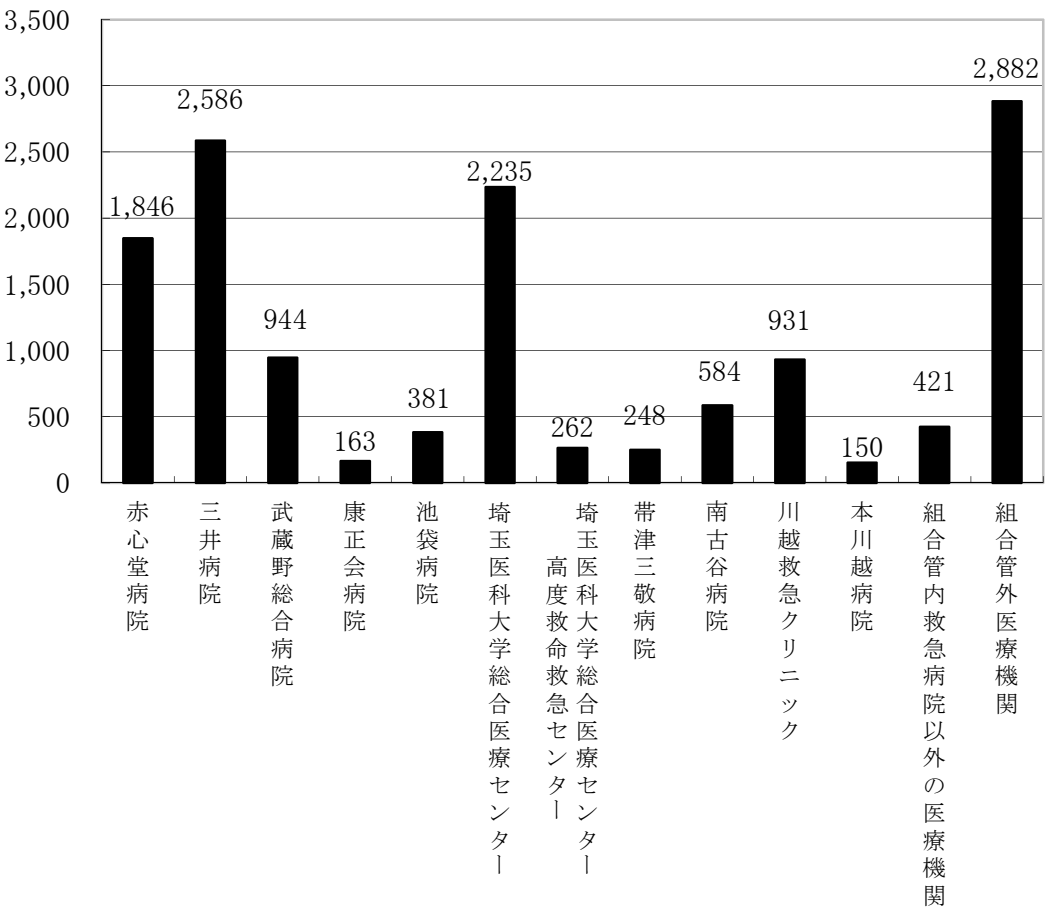
令和2年中

署所	出場 搬送	事故種別	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
			災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	の	計
川越北消防署	出場件数		5		1	167	27	8	304	7	25	1,283	316	2,143
	搬送人員		3			146	23	7	242	3	12	1,061	226	1,723
南古谷分署	出場件数		7		3	132	15	16	168	2	13	737	276	1,369
	搬送人員		1			125	15	16	150	4	4	665	239	1,219
川越中央消防署	出場件数		13			307	33	15	641	29	36	2,737	552	4,363
	搬送人員		6			285	33	15	578	22	30	2,326	341	3,636
高階分署	出場件数		6			163	17	4	323	15	19	1,548	176	2,271
	搬送人員		3			140	17	4	285	9	11	1,313	73	1,855
大東分署	出場件数		4			139	23	10	224	8	16	1,024	178	1,626
	搬送人員		2			125	21	9	200	7	14	899	115	1,392
川越西消防署	出場件数		7		1	118	9	12	281	10	20	1,240	231	1,929
	搬送人員		1			110	8	12	256	8	12	1,052	140	1,599
名細分署	出場件数		3			129	22	10	263	8	23	1,084	141	1,683
	搬送人員					114	21	9	234	5	17	977	99	1,476
川島消防署	出場件数		4			72	19	3	131	5	6	550	52	842
	搬送人員					66	20	3	117	4	4	497	22	733
合 計	出場件数		49	0	5	1,227	165	78	2,335	84	158	10,203	1,922	16,226
	搬送人員		16	0	0	1,111	158	75	2,062	62	104	8,790	1,255	13,633

医療機関別搬送人員

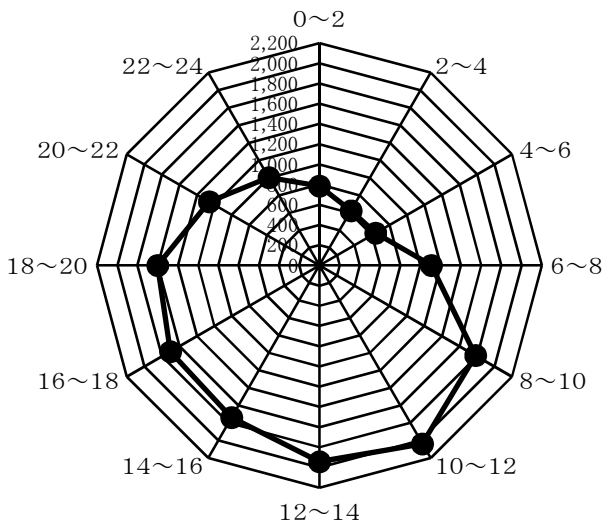
(単位:人)

令和2年中



時間別救急出場件数

令和2年中



時間	救急件数
0～2	786
2～4	624
4～6	640
6～8	1,108
8～10	1,783
10～12	2,037
12～14	1,942
14～16	1,738
16～18	1,703
18～20	1,601
20～22	1,260
22～24	1,004

救命講習実施状況

各年度中

区分 年度	普通救命講習		上級救命講習		合 計	
	回 数	人 員	回 数	人 員	回 数	人 員
平成28年度	174	3,221	4	106	178	3,327
平成29年度	182	3,179	3	85	185	3,264
平成30年度	175	3,130	11	214	186	3,344
令和元年度	165	2,866	6	145	171	3,011
令和2年度	25	441	0	0	25	441

救急講習指導状況

各年度中

区分 年度	救急講習		救命入門コース		合 計	
	回 数	人 員	回 数	人 員	回 数	人 員
平成28年度	230	14,020	53	1,509	283	15,529
平成29年度	187	10,482	49	1,352	236	11,834
平成30年度	249	12,872	49	1,076	298	13,948
令和元年度	190	12,748	31	872	221	13,620
令和2年度	11	341	4	162	15	503

救 助 活 動

事故種別出場件数、活動件数及び救助人員

令和2年中

事故種別 区 分	火災		交通 事故	水難 事故	自然 災害	機械 による 事故	建物 等による 事故	ガス 及び 酸欠 事故	破裂 事故	その他	合計
	建物	建物 以外									
出場件数	41	10	35	10		1	3			71	171
活動件数	41	10	25	10		1	2			41	130
救助人員	11	4	26	9		1	2			39	92

事故種別発生場所別救助人員

令和2年中

事故種別 発生区分		火災		交通 事故	水難 事故	自然 災害	機械 による 事故	建物 等による 事故	ガス 及び 酸欠 事故	破裂 事故	その他	合計
		建物	建物 以外									
屋 内	住 居	11						1			30	42
	その他の屋内						1	1				2
屋 外	道 高速自動車国道			1								1
	路 その他の道路			22							1	23
	水 内 水 面				9							9
	面 外 水 面											0
	山 岳											0
	その他の屋外		4	3							8	15
地 下												0
そ の 他												0
合 計		11	4	26	9	0	1	2	0	0	39	92

消 防 団

消防団分団区域図



川越市消防団分団の名称及び受持区域

名 称	区 域
第 一 分 団	石原町一丁目、石原町二丁目、大手町、御成町、喜多町、久保町、郭町一丁目、郭町二丁目、小仙波町一丁目、小仙波町二丁目、小仙波町三丁目、小仙波町四丁目、小仙波町五丁目、幸町、三久保町、志多町、城下町、神明町、末広町一丁目、末広町二丁目、末広町三丁目、間屋町、西小仙波町一丁目、西小仙波町二丁目、氷川町、松江町一丁目、松江町二丁目、宮下町一丁目、宮下町二丁目、宮元町、元町一丁目、元町二丁目、大字川越、大字小仙波、大字寺井、大字東明寺、大字松郷
第 二 分 団	岸町一丁目、三光町、新富町一丁目、新富町二丁目、菅原町、仙波町一丁目、仙波町二丁目、仙波町三丁目、仙波町四丁目、月吉町、通町、中原町一丁目、中原町二丁目、仲町、富士見町、南通町、連雀町、六軒町一丁目、六軒町二丁目、脇田町、大字大仙波
第 三 分 団	旭町一丁目、旭町二丁目、旭町三丁目、新宿町一丁目、新宿町二丁目、新宿町三丁目、新宿町四丁目、新宿町五丁目、新宿町六丁目、今成一丁目、今成二丁目、今成三丁目、今成四丁目、大塚二丁目の一部(二二番一から二二番一六まで、二二番三四から二二番三七まで、二四番一から二四番一四まで、二四番一八から二四番二〇まで、二五番一から二五番八まで、二五番一九から二五番二四まで、二七番一八、二七番二〇から二七番二五まで、二七番二七、二七番二九、一〇〇番一〇一、一〇〇番一〇二、一〇〇番一〇四、一〇〇番一〇五、一〇〇番一〇六、一〇〇番一〇七、一〇〇番一〇八、一〇〇番一〇九、一〇〇番一一〇、一〇〇番一一一、一〇〇番一二五、一〇〇番一七一、一〇〇番一七二、一〇〇番二〇七から一〇〇番二一〇まで、一〇四番一八及び一〇四番一九)、上野田町、岸町二丁目、岸町三丁目、広栄町、田町、中台一丁目(一部(一番から五番まで、九番五、一〇〇番一から一〇〇番一四まで、一〇〇番一六、一〇〇番二〇、一〇〇番三〇及び一〇〇番三七から一〇〇番三九まで)、中台元町二丁目(一部(一番、二番一から二番一〇まで、二番一から二番一五まで、二番一七、二番二二から二番二四まで、三番一、三番二、三番五、三番六、三番二一、三番二二、一〇〇番一から一〇〇番五まで及び一〇〇番九)、野田町一丁目、野田町二丁目、東田町、むさし野の一部(一番一から一番八まで、三番一七から三番二四まで、四番一から四番三まで、四番一七から四番二〇まで、一〇〇番八及び一〇〇番一九から一〇〇番二三まで)、脇田新町、脇田本町、大字小ヶ谷、大字大仙波新田、大字岸、大字小室、大字野田
芳 野 分 団	川越市芳野市民センターの所管区域
古 谷 分 団	川越市古谷市民センターの所管区域
南 古 谷 分 団	川越市南古谷市民センターの所管区域
高 階 分 団	川越市高階市民センターの所管区域
福 原 分 団	川越市福原市民センターの所管区域
大 東 分 団	川越市大東市民センターの所管区域
山 田 分 団	川越市山田市民センターの所管区域
名 細 分 団	川越市名細市民センターの所管区域及び川鶴市民センター所管区域の一部(吉田新町一丁目、吉田新町二丁目及び吉田新町三丁目)
霞ヶ関分団	川越市霞ヶ関市民センターの所管区域、川鶴市民センターの所管区域(吉田新町一丁目、吉田新町二丁目及び吉田新町三丁目を除く。)及び霞ヶ関北市民センターの所管区域

川島町消防団分団の名称及び受持区域

名 称	区 域
第 一 分 団	大字中山、大字南園部、大字吹塚、大字北園部、大字正直、大字戸守、大字長楽、八幡一丁目、八幡二丁目、八幡三丁目、八幡四丁目、八幡五丁目、八幡六丁目、かわじま一丁目、かわじま二丁目
第 二 分 団	大字上伊草、大字伊草、大字下伊草、大字角泉、大字安塚、大字飯島
第 三 分 団	大字平沼、大字白井沼、大字紫竹、大字宮前、大字上貉、大字下貉、大字釘無、大字新堀、大字吉原、大字表
第 四 分 団	大字出丸下郷、大字西谷、大字曲師、大字出丸本、大字上大屋敷、大字下大屋敷、大字出丸中郷
第 五 分 団	大字上八ツ林、大字下八ツ林、大字畑中、大字三保谷宿、大字牛ヶ谷戸、大字山ヶ谷戸、大字東野、大字東大塚
第 六 分 団	大字虫塚、大字梅ノ木、大字上小見野、大字下小見野、大字加胡、大字松永、大字谷中、大字鳥羽井、大字一本木、大字芝沼、大字鳥羽井新田、大字東部

消防団員の実員数

(1) 階級別

令和3年4月1日現在

階級 区分		団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
川越市	定数	1	4	13	13	13	26	260	330
	実員	1	4	13	13	13	26	196	266
川島町	定数	1	2	6	6	7	13	94	129
	実員	1	2	6	6	7	13	81	116

(2) 川越市消防団本部分団別実員数

令和3年4月1日現在

階級 所属	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
団 本 部	1	4	1	1	1	2	16	26
第一分団			1	1	1	2	14	19
第二分団			1	1	1	2	15	20
第三分団			1	1	1	2	18	23
芳野分団			1	1	1	2	20	25
古谷分団			1	1	1	2	17	22
南古谷分団			1	1	1	2	16	21
高階分団			1	1	1	2	12	17
福原分団			1	1	1	2	10	15
大東分団			1	1	1	2	11	16
山田分団			1	1	1	2	19	24
名細分団			1	1	1	2	13	18
霞ヶ関分団			1	1	1	2	15	20
合 計	1	4	13	13	13	26	196	266

(3) 川島町消防団本部分団別実員数

令和3年4月1日現在

階級 所属	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
団 本 部	1	2			1	1	6	11
第一分団			1	1	1	2	12	17
第二分団			1	1	1	2	12	17
第三分団			1	1	1	2	13	18
第四分団			1	1	1	2	14	19
第五分団			1	1	1	2	11	16
第六分団			1	1	1	2	13	18
合 計	1	2	6	6	7	13	81	116

分団別人口世帯の状況

(1) 川越市消防団

令和3年4月1日現在

人口等 所属	定 員	人 口	世帯数	団員1人当り	
				人 口	世帯数
団 本 部	30				
第 一 分 団	25	28,377	13,004	1,135	520
第 二 分 団	25	28,988	15,218	1,160	609
第 三 分 団	25	48,679	23,776	1,947	951
芳 野 分 団	25	5,554	2,233	222	89
古 谷 分 団	25	10,351	4,448	414	178
南古谷分団	25	25,116	10,630	1,005	425
高 階 分 団	25	53,439	25,598	2,138	1,024
福 原 分 団	25	20,842	8,806	834	352
大 東 分 団	25	35,266	15,727	1,411	629
山 田 分 団	25	11,966	5,019	479	201
名 細 分 団	25	29,896	13,755	1,196	550
霞ヶ関分団	25	54,968	24,809	2,199	992
合 計	330	353,442	163,023	1,071	494

(2) 川島町消防団

令和3年4月1日現在

人口等 所属	定 員	人 口	世帯数	団員1人当り	
				人 口	世帯数
団 本 部	15				
第 一 分 団	19	6,527	2,754	347	144
第 二 分 団	19	6,131	2,612	326	136
第 三 分 団	19	1,885	748	100	39
第 四 分 団	19	1,430	544	76	29
第 五 分 団	19	1,951	810	105	43
第 六 分 団	19	1,698	644	91	34
合 計	129	19,622	8,112	152	63

消防団員の勤続年数

(1) 川越市消防団

令和3年4月1日現在

階級 年数	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
5年未満					1	2	73	76
5年以上10年未満			1	3	2	6	51	63
10年以上15年未満		1	4	2	4	8	37	56
15年以上20年未満			4	6	5	6	16	37
20年以上25年未満		1	4	2	1	3	12	23
25年以上30年未満	1	1				1	3	6
30年以上		1					4	5
合 計	1	4	13	13	13	26	196	266

(単位:人)

(2) 川島町消防団

令和3年4月1日現在

階級 年数	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
5年未満							36	36
5年以上10年未満						1	18	19
10年以上15年未満				1	2	3	11	17
15年以上20年未満			1	1	2	7	5	16
20年以上25年未満		1	4	4	3	1	11	24
25年以上30年未満						1		1
30年以上	1	1	1					3
合 計	1	2	6	6	7	13	81	116

(単位:人)

消防団員の年齢

(1) 川越市消防団

令和3年4月1日現在

階級 年齢	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
18歳以上～20歳未満							3	3
20歳以上～25歳未満						1	5	6
25歳以上～30歳未満						1	16	17
30歳以上～35歳未満				1	1	2	29	33
35歳以上～40歳未満			1	2	3	6	37	49
40歳以上～45歳未満		1	6	4	2	4	38	55
45歳以上～50歳未満		1	2	2	4	10	45	64
50歳以上～55歳未満		2	2	2	2	2	7	17
55歳以上～60歳未満	1		2	2	1		10	16
60歳以上～65歳未満							4	4
65歳以上							2	2
合 計	1	4	13	13	13	26	196	266

(単位:人)

(2) 川島町消防団

令和3年4月1日現在

階級 年齢	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
18歳以上～20歳未満								0
20歳以上～25歳未満							6	6
25歳以上～30歳未満							10	10
30歳以上～35歳未満							16	16
35歳以上～40歳未満				1	1	3	18	23
40歳以上～45歳未満					1	2	15	18
45歳以上～50歳未満		1	5	3	3	6	11	29
50歳以上～55歳未満		1	1	2	1	2	4	11
55歳以上～60歳未満	1				1		1	3
60歳以上～65歳未満								0
65歳以上								0
合 計	1	2	6	6	7	13	81	116

(単位:人)

消防団員の報酬等

(1) 報 酬

令和3年4月1日現在

階級 内訳	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
年 支 給 額	206,000	174,000	151,000	123,000	107,000	89,000	69,000

※機関係員には、年額11,000円の報酬を加給する。

(単位:円)

(2) 費用弁償

令和3年4月1日現在

区 分	支給単位	金 額
火 災 等 の 場 合	1 人 1 回 に つ き	3,000
警 戒 、 訓 練 等 の 場 合	1 人 1 回 に つ き	2,000
行 事 及 び 会 議 の 場 合	1 人 1 回 に つ き	1,000

※火災等の場合の1回の従事時間が4時間を超える場合は3,000円を加給する。

(単位:円)

(3) 退職報償金

令和3年4月1日現在

階級 勤続年数	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
5 年 以 上 1 0 年 未 満	239,000	229,000	219,000	214,000	204,000		200,000
1 0 年 以 上 1 5 年 未 満	344,000	329,000	318,000	303,000	283,000		264,000
1 5 年 以 上 2 0 年 未 満	459,000	429,000	413,000	388,000	358,000		334,000
2 0 年 以 上 2 5 年 未 満	594,000	534,000	513,000	478,000	438,000		409,000
2 5 年 以 上 3 0 年 未 満	779,000	709,000	659,000	624,000	564,000		519,000
3 0 年 以 上	979,000	909,000	849,000	809,000	734,000		689,000

(単位:円)

分団別火災出場の状況

(1) 川越市消防団

令和2年中

月 分団	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
第一分団		1	2	2	1	1		1	2			1	11
第二分団		1	2	2	1	1			2			1	10
第三分団		1	2	2	1	1			2			1	10
芳野分団				1				1	1			1	4
古谷分団			1	1				1			1	1	5
南古谷分団		1	1	1				1		1	1	1	7
高階分団		1						1			2		4
福原分団		1			1	1		1	1	1	1	1	8
大東分団	1	1	1		1	1	1	1	2		3	2	14
山田分団		1	1					1					3
名細分団	2	1	1				2	2	1		1	1	11
霞ヶ関分団	1	1	1		1		2	1	2		1	2	12
合計	4	10	12	9	6	5	5	11	13	2	10	12	99

出場延人員 506人

(単位:回)

(2) 川島町消防団

令和2年中

月 分団	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
第一分団			1		1	1		2		1			6
第二分団			1		1	1		1		1			5
第三分団			1		1	1		2		1			6
第四分団			1	1	1	1		1		1			6
第五分団			2		1	1		1		1	1		7
第六分団			1		1	1		1					4
合計	0	0	7	1	6	6	0	8	0	5	1	0	34

出場延人員 184人

(単位:回)

分団車庫所在地

(1) 川越市消防団

令和3年4月1日現在

分 団	所 在 地	構 造	敷地面積 (㎡)	延面積 (㎡)	建築年月日
第 一 分 団	小仙波町1-2-15	鉄筋コンクリート造2階建	174.56	91.80	H 7. 3.31
第 二 分 団	三光町2-8	鉄筋コンクリート造2階建	170.00	109.78	H11. 3.15
第 三 分 団	野田町1-3-8	鉄骨造2階建	319.17	104.52	H 3. 3.30
芳 野 分 団	大字鴨田9-1	鉄骨造平屋建	750.00	104.00	H17.3.25
古 谷 分 団	大字古谷上3831-1	鉄筋コンクリート造 一部木造2階建	187.70	99.40	H 7. 3.31
南古谷分団	大字今泉307-2	木造平屋建	252.79	103.10	H19. 3. 1
高 階 分 団	大字藤間346-1	鉄骨造2階建	172.29	112.00	H16. 2.20
福 原 分 団	大字今福1785-5	鉄筋コンクリート造2階建	232.38	99.22	H25. 3.14
大 東 分 団	南大塚1-14-12	鉄骨造2階建	138.37	84.20	H元. 3.11
山 田 分 団	大字山田167	鉄骨造2階建	245.57	112.00	H15. 3.14
名 細 分 団	大字小堤644-3	鉄骨造平屋建	482.00	100.00	H20. 3.26
霞ヶ関分団	大字笠幡2365-1	鉄骨造平屋建	721.83	100.00	H18. 3.28

(2) 川島町消防団

令和3年4月1日現在

分 団	所 在 地	構 造	敷地面積 (㎡)	延面積 (㎡)	建築年月日
第 一 分 団	大字吹塚737-1	鉄骨造平屋建	332.57	60.30	H 7. 2.27
第 二 分 団	大字伊草184	鉄骨造平屋建	172.97	52.03	H 4. 1.31
第 三 分 団	大字白井沼880	鉄骨造平屋建	306.00	89.43	H19. 3.15
第 四 分 団	大字上大屋敷144-1	鉄骨造2階建	140.95	85.66	H13. 3.28
第 五 分 団	大字畑中344-1	鉄骨造2階建	146.89	88.90	H15. 3.31
第 六 分 団	大字下小見野277-1	鉄骨造平屋建	299.86	89.43	H17. 2. 3

消防自動車性能

(1)川越市消防団

令和3年4月1日現在

所 属	車名及び年式	総排気量 (cc)	自動車登録番号	ポンプの級別 (級)	購入年月日
団 本 部	トヨタR1年	1,980	川越830て 119	—	R1.9.30
	スズキH26年	658	川越880あ 303	B-2	H26.12.25
第 一 分 団	いすゞH24年	2,990	川越800さ1318	A-2	H24.2.3
第 二 分 団	日野H24年	4,009	川越800さ1508	A-2	H24.12.17
第 三 分 団	日野H26年	4,009	川越800さ1946	A-2	H26.12.8
芳 野 分 団	日野H23年	4,009	川越800さ1101	A-2	H23.1.28
古 谷 分 団	日野H25年	4,009	川越800さ1768	A-2	H25.12.9
南古谷分団	三菱H20年	4,890	川越800さ 448	A-2	H20.1.31
高 階 分 団	いすゞH21年	2,990	川越800さ 681	A-2	H21.1.30
福 原 分 団	日野H28年	4,009	川越800さ2448	A-2	H28.12.7
大 東 分 団	日野H19年	4,009	川越830そ 119	A-2	H19.1.24
山 田 分 団	日野H25年	4,009	川越800さ1769	A-2	H25.12.9
名 細 分 団	日野H26年	4,009	川越800さ1947	A-2	H26.12.8
霞ヶ関分団	日野H18年	4,009	川越800さ 102	A-2	H18.3.9

(2)川島町消防団

令和3年4月1日現在

所 属	車名及び年式	総排気量 (cc)	自動車登録番号	ポンプの級別 (級)	購入年月日
団 本 部	三菱H21年	2,350	熊谷800す2124	—	H21.1.29
第 一 分 団	日野H22年	4,009	熊谷800す2676	A-2	H22.1.26
第 二 分 団	日野R2年	4,009	熊谷800す8375	A-2	R2.12.8
第 三 分 団	日野H23年	4,009	熊谷800す3189	A-2	H23.1.28
第 四 分 団	三菱H20年	4,890	熊谷800す1434	A-2	H20.1.31
第 五 分 団	日野H21年	4,009	熊谷800す2122	A-2	H21.1.30
第 六 分 団	日野H19年	4,009	熊谷800す 613	A-2	H19.1.24

※A-2 毎分2.0m³～2.8m³未満の放水ができるもの

※B-2 毎分1.0m³～1.5m³未満の放水ができるもの

川越市消防団専用無線設備の状況

令和3年4月1日現在

移 動 局	電波の種類	出 力	通信方式
32	消防団波 市町村波	デジタル移動局 ・車両積載 5W ・可搬型 5W ・団長・副団長携帯 2W ・分団長携帯 2W	単信方式

所 属	呼 出 名 称	備 考
団 本 部	かわごえだんほんぶ 1	可搬型
	※ かわごえだんしき 1	車両積載
	かわごえだんせきさい 1	車両積載
	※ かわごえだん 201	団長携帯
	※ かわごえだん 202	副団長携帯
	※ かわごえだん 203	副団長携帯
	※ かわごえだん 204	副団長携帯
	※ かわごえだん 205	副団長携帯
第 一 分 団	かわごえいちぶんだん 1	車両積載
	かわごえいちぶんだん 101	分団長携帯
第 二 分 団	かわごえにぶんだん 1	車両積載
	かわごえにぶんだん 101	分団長携帯
第 三 分 団	かわごえさんぶんだん 1	車両積載
	かわごえさんぶんだん 101	分団長携帯
芳 野 分 団	よしのぶんだん 1	車両積載
	よしのぶんだん 101	分団長携帯
古 谷 分 団	ふるやぶんだん 1	車両積載
	ふるやぶんだん 101	分団長携帯
南古谷分団	みなみふるやぶんだん 1	車両積載
	みなみふるやぶんだん 101	分団長携帯
高 階 分 団	たかしなぶんだん 1	車両積載
	たかしなぶんだん 101	分団長携帯
福 原 分 団	ふくはらぶんだん 1	車両積載
	ふくはらぶんだん 101	分団長携帯
大 東 分 団	だいとうぶんだん 1	車両積載
	だいとうぶんだん 101	分団長携帯
山 田 分 団	やまだぶんだん 1	車両積載
	やまだぶんだん 101	分団長携帯
名 細 分 団	なぐわしぶんだん 1	車両積載
	なぐわしぶんだん 101	分団長携帯
霞ヶ関分団	かすみがせきぶんだん 1	車両積載
	かすみがせきぶんだん 101	分団長携帯

※市町村波 導入移動局

川島町消防団専用無線設備の状況

令和3年4月1日現在

移 動 局	電波の種類	出 力	通信方式
18	消防団波 市町村波	デジタル移動局 ・車両積載 5W ・可搬型 5W ・団長・副団長携帯 2W ・分団長携帯 2W	単信方式

所 属	呼 出 名 称	備 考
団 本 部	かわじまだんほんぶ 1	可搬型
	かわじまだんほんぶ 2	可搬型
	※ かわじまだんしれい 1	車両積載
	※ かわじまだん 201	団長携帯
	※ かわじまだん 202	副団長携帯
	※ かわじまだん 203	副団長携帯
第 一 分 団	かわじまいちぶんだん 1	車両積載
	かわじまいちぶんだん 101	分団長携帯
第 二 分 団	かわじまにぶんだん 1	車両積載
	かわじまにぶんだん 101	分団長携帯
第 三 分 団	かわじまさんぶんだん 1	車両積載
	かわじまさんぶんだん 101	分団長携帯
第 四 分 団	かわじまよんぶんだん 1	車両積載
	かわじまよんぶんだん 101	分団長携帯
第 五 分 団	かわじまごぶんだん 1	車両積載
	かわじまごぶんだん 101	分団長携帯
第 六 分 団	かわじまろくぶんだん 1	車両積載
	かわじまろくぶんだん 101	分団長携帯

※市町村波 導入移動局

そ の 他

水防団員の編成（定員）

(1) 川越市水防団本部分団別定数

令和3年4月1日現在

階級 所属	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
団 本 部	1	4	1	1	1	2	20	30
第 一 分 団			1	1	1	2	20	25
第 二 分 団			1	1	1	2	20	25
第 三 分 団			1	1	1	2	55 (35)	60
芳 野 分 団			1	1	1	2	101 (81)	106
古 谷 分 団			1	1	1	2	104 (84)	109
南古谷分団			1	1	1	2	120 (100)	125
高 階 分 団			1	1	1	2	59 (39)	64
福 原 分 団			1	1	1	2	20	25
大 東 分 団			1	1	1	2	59 (39)	64
山 田 分 団			1	1	1	2	113 (93)	118
名 細 分 団			1	1	1	2	126 (106)	131
霞ヶ関分団			1	1	1	2	120 (100)	125
合 計	1	4	13	13	13	26	937 (677)	1,007

※ 団員欄中（ ）内の数字は、消防団員以外の水防団員を示す。

(2) 川島町水防団本部分団別定数

令和3年4月1日現在

階級 所属	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
団 本 部	1	2			1	1	10	15
第 一 分 団			1	1	1	2	14	19
第 二 分 団			1	1	1	2	14	19
第 三 分 団			1	1	1	2	14	19
第 四 分 団			1	1	1	2	14	19
第 五 分 団			1	1	1	2	14	19
第 六 分 団			1	1	1	2	14	19
合 計	1	2	6	6	7	13	94	129

水防倉庫所在地

(1) 川越市

令和3年4月1日現在

名 称	所 在 地	構 造	面積(㎡)	建築年月日
小ヶ谷水防倉庫	川越市大字小ヶ谷546-1	木造平屋建	9.90	S52.11.30
上老袋水防倉庫	川越市大字上老袋447-1	木造平屋建	9.72	S30. 3.31
南古谷水防倉庫	川越市大字今泉307-2	鉄骨造平屋建	3.00	H19. 3. 1
池辺水防倉庫	川越市大字池辺323-2	鉄骨造平屋建	9.94	H10. 3.31
増形水防倉庫	川越市大字増形463-1	木造平屋建	33.05	S31. 3.31
寺山水防倉庫	川越市大字寺山543	木造平屋建	16.52	S26. 3.31
平塚水防倉庫	川越市大字平塚789-1	木造平屋建	33.05	S30. 3.31
小堤水防倉庫	川越市大字小堤289-14	鉄骨造平屋建	19.80	S43. 3.31
笠幡水防倉庫	川越市大字笠幡163-27	鉄骨造平屋建	19.80	S44. 3.31

(2) 川島町

令和3年4月1日現在

名 称	所 在 地	構 造	面積(㎡)	建築年月日
上伊草水防倉庫	川島町大字上伊草941-1	鉄骨造、平屋建	33.00	S63. 9.30
伊草水防倉庫	川島町大字下伊草200	鉄骨造、平屋建	33.00	S63. 9.30
釘無水防倉庫	川島町大字釘無119	鉄骨造、平屋建	23.68	H 3. 3.28
曲師水防倉庫	川島町大字曲師469-2	鉄骨造、平屋建	23.04	H 2. 3.28
大屋敷水防倉庫	川島町大字上大屋敷245	鉄骨造、平屋建	23.04	S62.12.14
神明水防倉庫	川島町大字三保谷宿644	軽量鉄骨造、平屋建	33.12	H13. 8.10
鳥羽井水防倉庫	川島町大字鳥羽井375	鉄骨造、平屋建	33.12	S58.10.27
長楽水防倉庫	川島町大字長楽837-4	鉄骨造、平屋建	23.04	H 2. 3.28
梅ノ木水防倉庫	川島町大字上小見野2046-2～2049-3	鉄骨造、平屋建	23.68	H 3. 3.28
小見野水防倉庫	川島町大字下小見野277-1	プレハブ、平屋建	19.87	H 5.10. 1

自警消防隊の状況

川 越 市

令和3年4月1日現在

区域 隊数 等	第 三		芳 野		高 階		福 原		大 東		山 田		名 細		合計
	隊名	人員	隊名	人員	隊名	人員	隊名	人員	隊名	人員	隊名	人員	隊名	人員	
1	小ヶ谷	17	北田島	25	藤間	12	下赤坂		豊田本	20	上寺山	18	下小坂		
2	今成	19	伊佐沼	16	新河岸	7	中福	8	池辺	15	寺山	16			
3			鴨田1	17	砂	25	下松原				福田	16			
4			鴨田2	14			砂久保	9			北山田				
5			鴨田3	8			中台	10			南山田	12			
6			石田本郷	19							府川	6			
7			菅間中下	25											
8			菅間上	21											
9			鹿飼	14											
10			老袋	27											
隊数	2		10		3		5		2		6		1		29
人員計	36		186		44		27		35		72		0		400

消 防 年 報

令和 3 年 6 月刊行

発行 川越地区消防局 総務課

〒350-0823 埼玉県川越市神明町48番地4

電 話 (049) 222-0700

F A X (049) 225-2564

